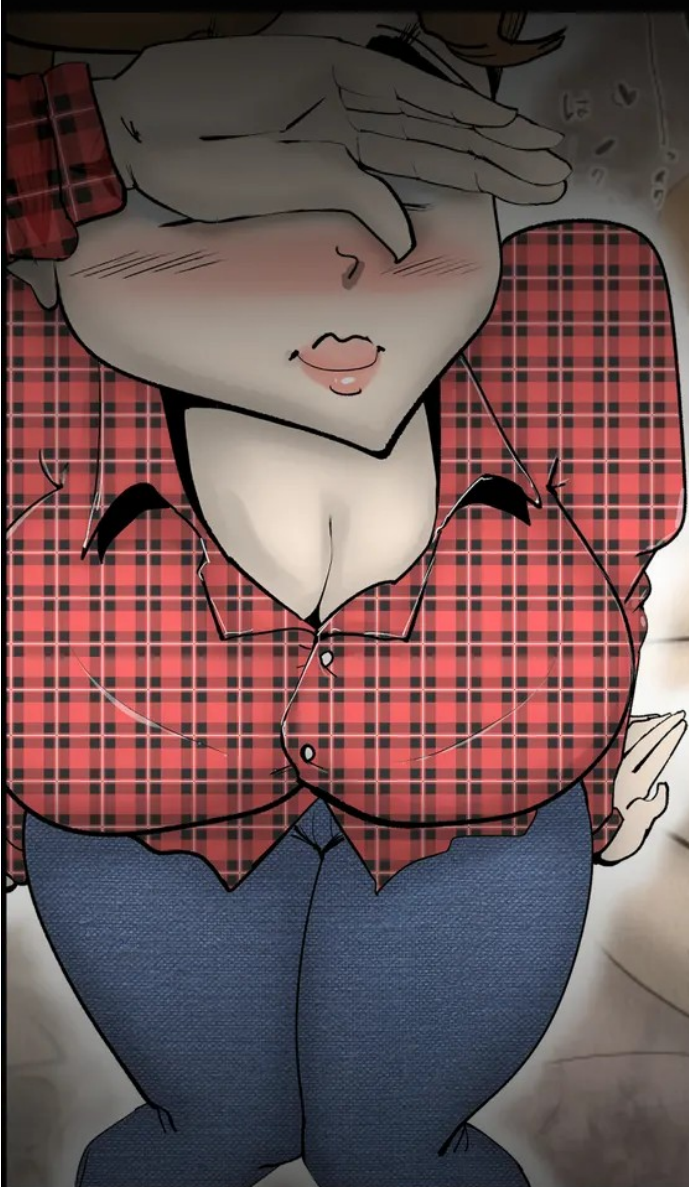


田舎に住んでて  
父がいないときは  
母とセックスして  
います



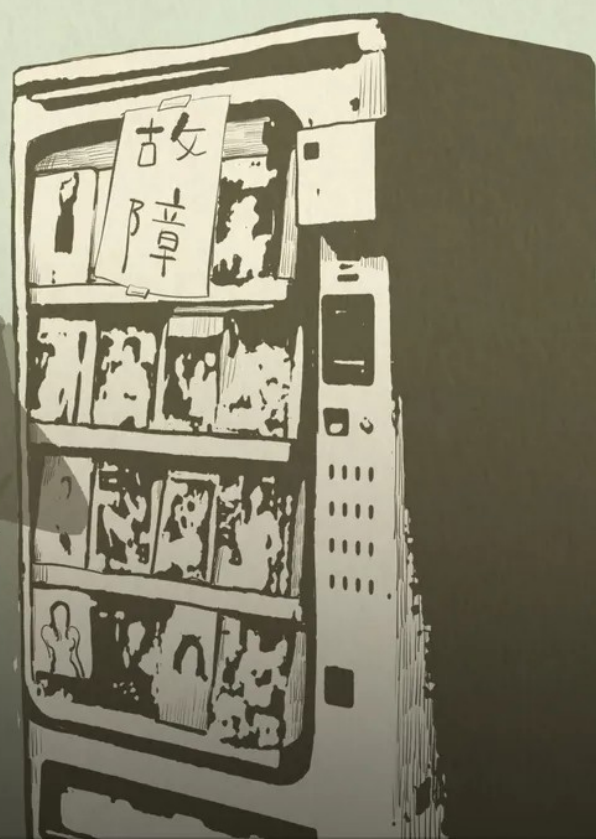


僕の実家は  
超絶下級の田舎だ

ネットと水洗トイレの  
供給全国ワーストの  
過疎地



そんなパチンコもない絶望的集落の  
住民(殿方)のオアシスともいふべき  
存在がビニ本自動販売機だ



そんな住民の救世主である自販機が  
この度故障してしまい村の殿方衆の  
中で静かに激震が走っていた



かく言う僕もその中の  
一人であつた

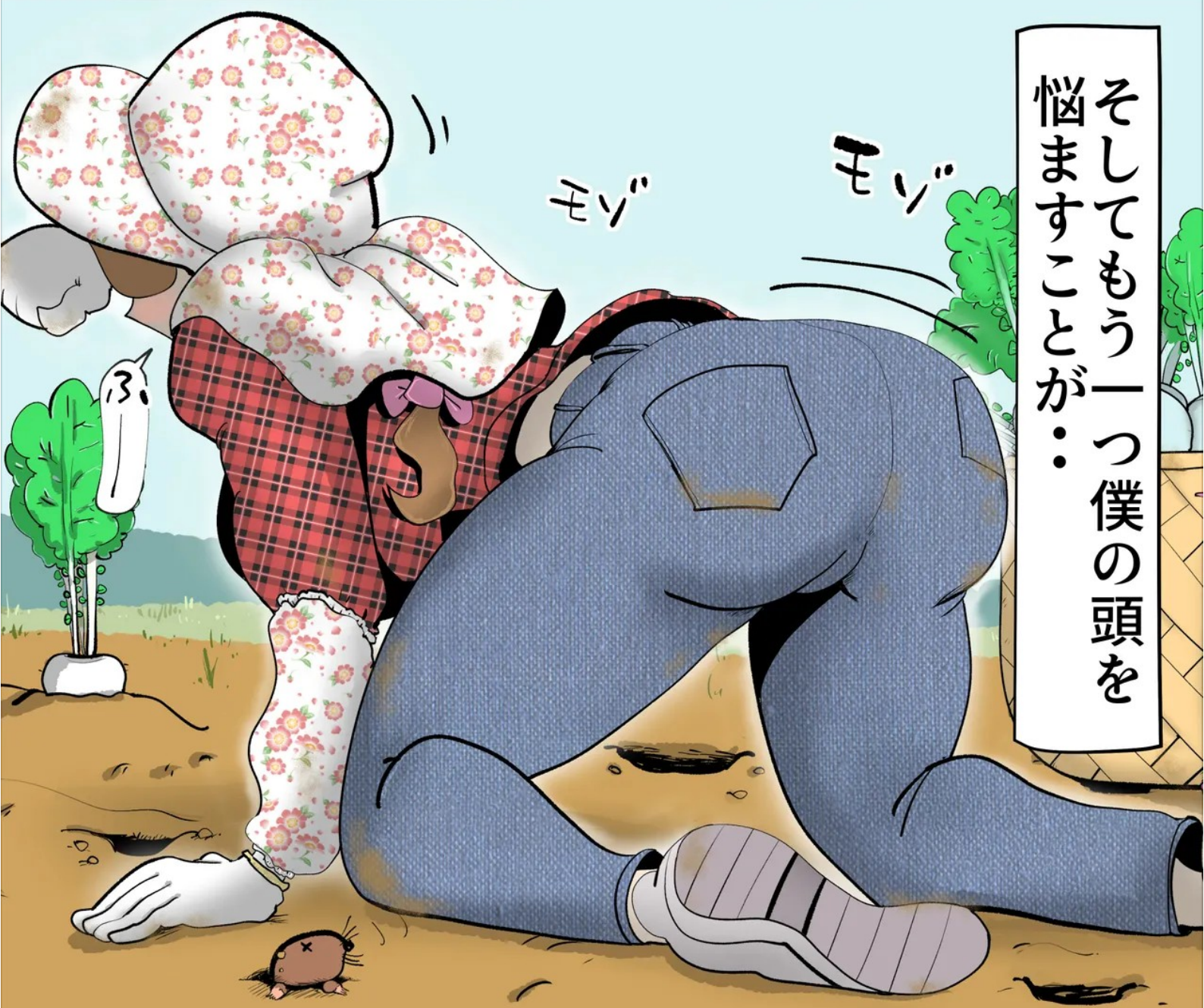


母さんこっちは  
終わつたよ

はいこつちも  
もう少しで  
終わるから



そしてもう一つ僕の頭を  
悩ますことが：





うちの母親だ

ありがとう  
疲れたでしょ？

母…みさこ

先に休んでて  
いいわよ

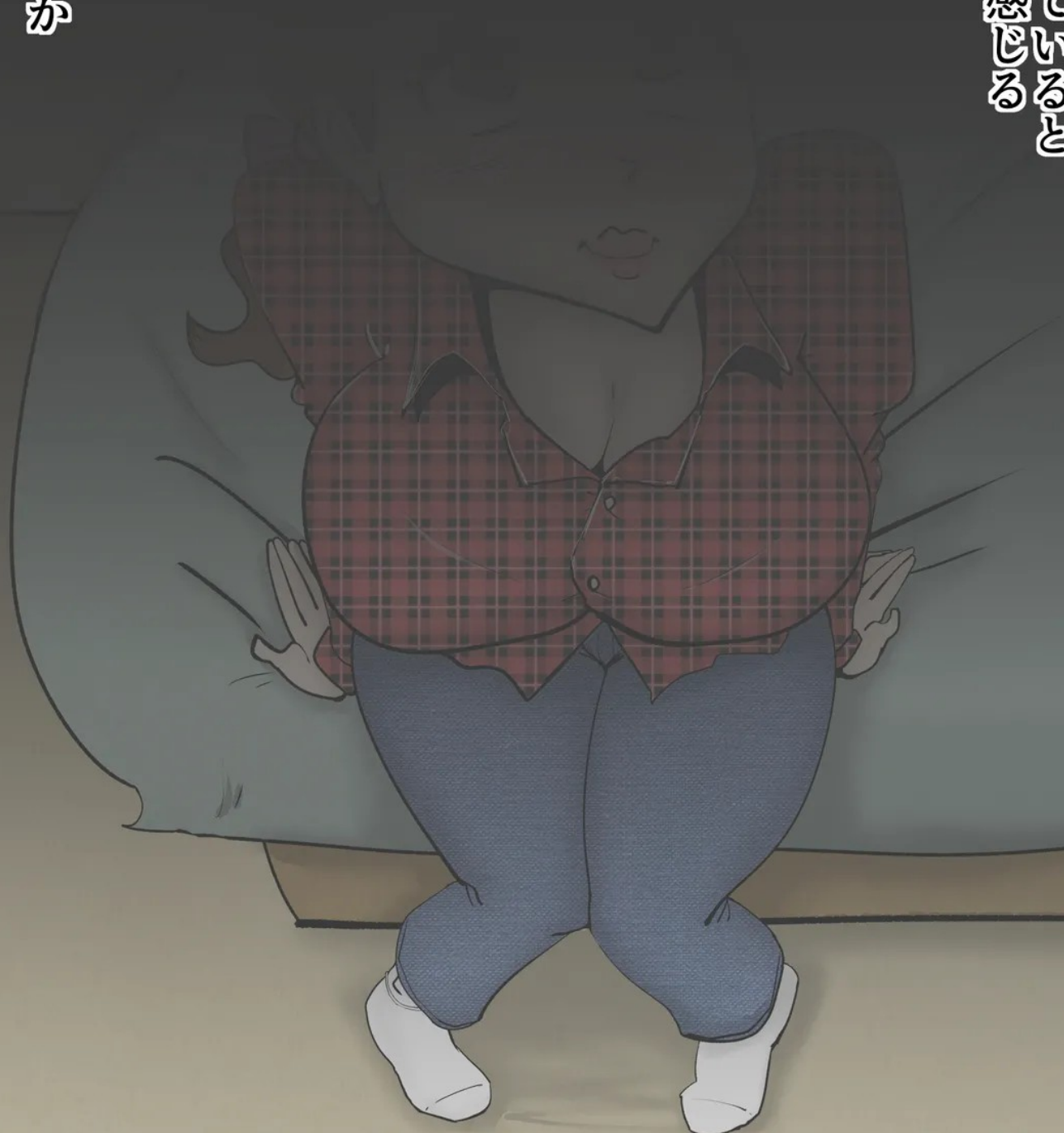
ほーい



部屋で昼寝していると  
誰かの気配を感じる

ギン

…誰かいるのか





うわー

目を覚ますと側に  
母親が座っていた

もうびっくりした  
なんでこんな所に  
いるんだよ!?

ギ  
ニ

愛息子の可愛い顔見たかった  
だけよそんな驚かんで

俺もう二十歳過ぎてんだけど

そう固いこと言いなさんな  
そんな可愛い顔して

それにしても  
ほんとに今日はえらい暑いね



ちよつと  
何やつてんの!?

え、何が?

胸元、開いてる!!

暑だっ  
てじゃん

ぷるん

いや  
閉めて早く!

はいはい





うううおいっいいい!

え  
なに?

だから  
服、なんで脱いでるの!?

パサッ

ああ  
ごめんごめん  
暑くってさー

今、わかったって  
言っただじゃん!

なんで脱いでんのさ  
逆に!





もう細かいこと言ってる  
お母さんのおっぱい見たって  
あんた何とも思わんでしょ?

あ、当たり前だろ!

じゃあよかでしょ

だめでしょ!

もう家の中ぐらい  
ゆっくりさせてんね

居間じゃそんなこと  
しないでしょ!?

そうかしら

うちの母親は性に対し  
疎く年頃の息子の前でも  
平気で下着姿を  
さらしたりして

息子の俺としては  
とても困っているのだ





おい！

なによ  
大きい声出して

だから何で  
下まで脱いでんの！

だからさっきから  
言ってるでしょ  
暑いんだってば  
さっき体を動かしたし

わかったわよ  
もう水臭いな

だめここ僕の部屋で  
なんでから風呂場で  
涼んでください

暑いんだったら  
シャワー入ってこいよ  
いいじゃないちよつと  
涼んだって





終始この調子でも  
息子の俺としても  
毎日気が気じゃない



最近はお販機の故障も重なり  
新しいエロ本が購入できず

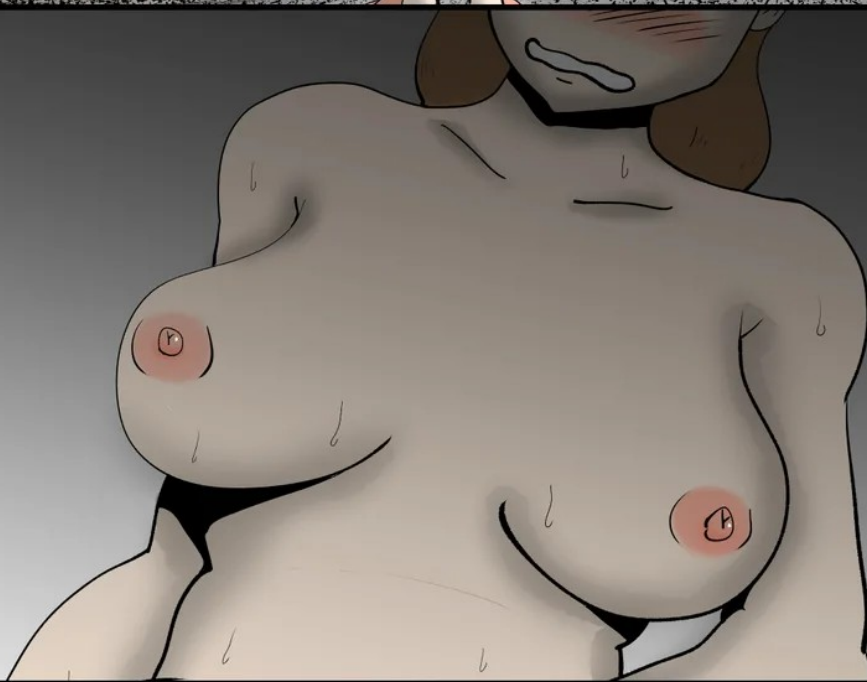
毎日母さんの姿を見て  
悶々としてしまう  
日々が続いていた

なんだよ  
すっぴん

そして  
あろう  
ことか

母さんを押し倒して  
あわよくばどうにかして  
やりたいというキ○ガイ  
じみた欲求が

僕の頭をぐるぐるぐるぐる  
回って離れてくれない









以前息子の部屋を  
掃除していて  
エロ本を発見してしまい  
忘れていた私の黒歴史を  
おもいだしてしまった



私には学生時代  
夜な夜な

どうしても止められない  
悪癖があった



私の村では  
娯楽などには  
何一つなく

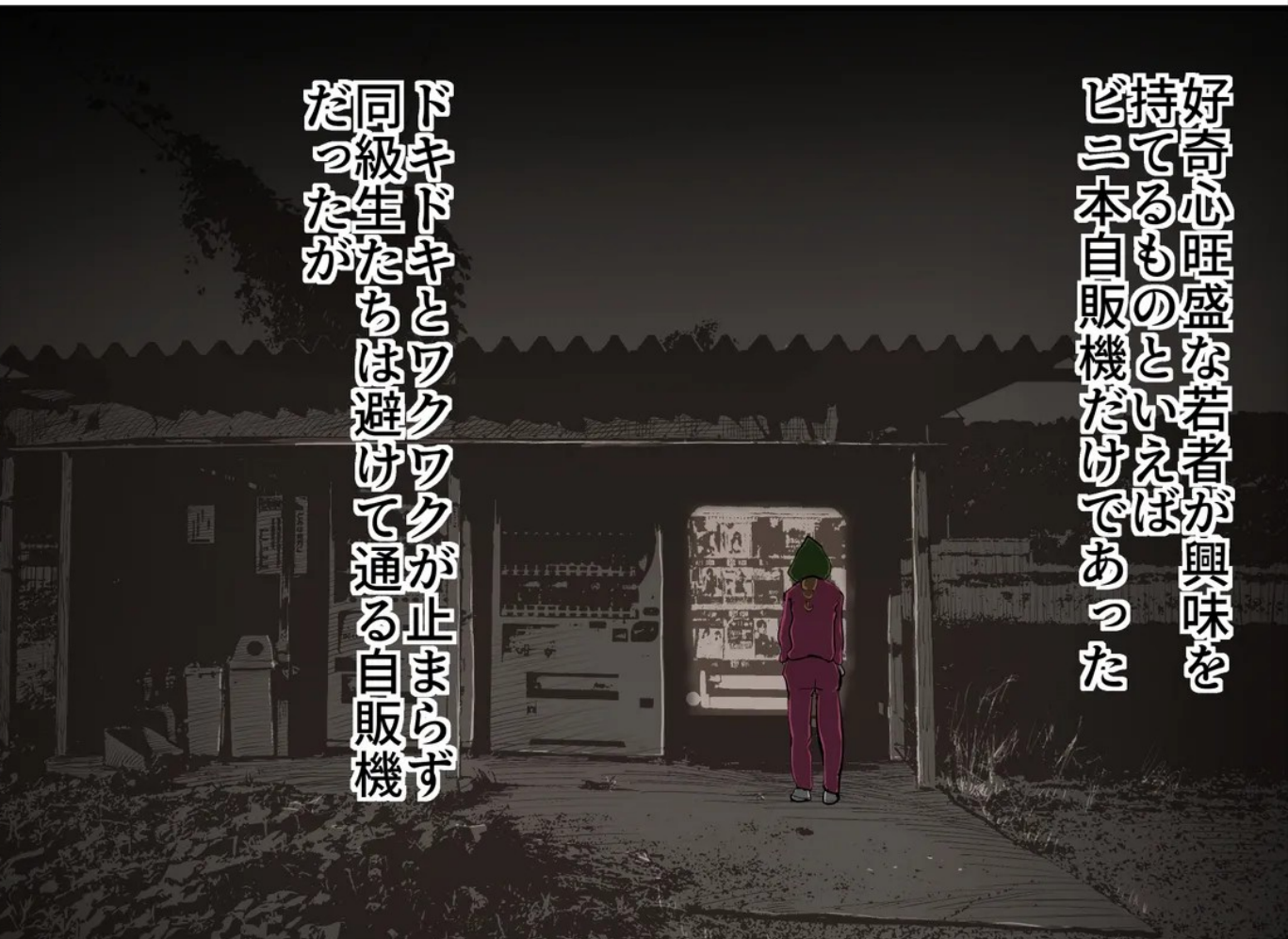
見渡す限り  
田んぼと  
納屋ばかりで



好奇心旺盛な若者が興味を  
持てるものといえ  
び二本自販機だけであつた

ドキドキとワクワクが止まらず  
同級生たちは避けて通る自販機  
だつたが

私は人気を見計らつては  
その自販機に通い日々  
読書に耽つていた

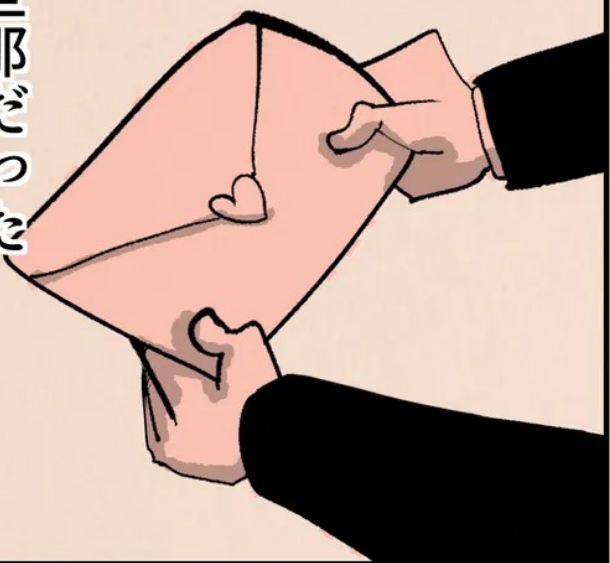




そんな歪んだ私を  
まっとうな道に  
戻してくれたのが



今の旦那だった



夫は不器用だけど

オネガイシマス!!

イエス

まっすぐで  
誠実な人だった



高校を卒業してすぐ  
夫と結婚し



幸せな家庭を

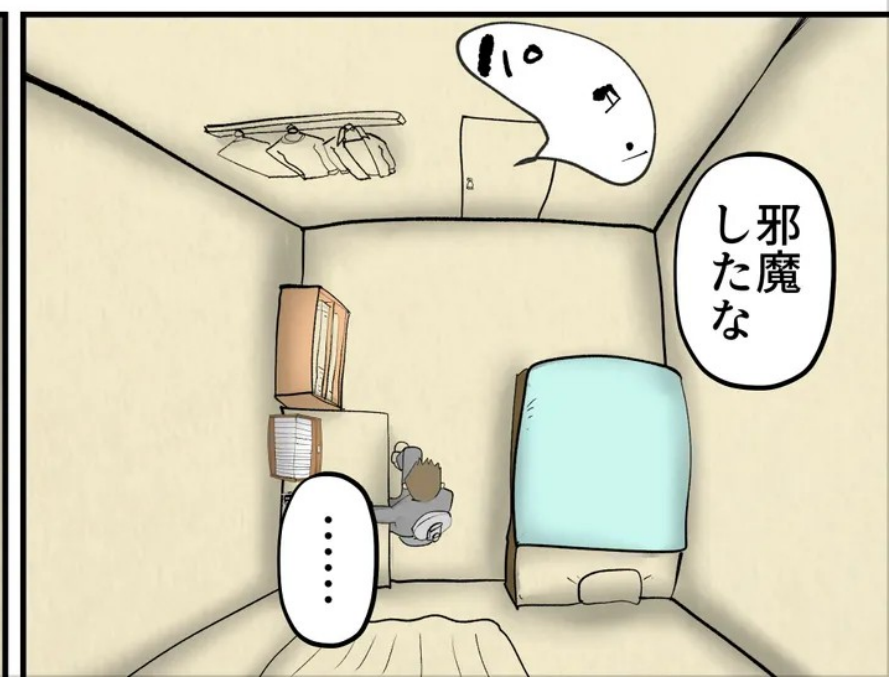
持つことができ



そんな悪癖など今の今まで  
すっかり忘れていた









今しがた読書の最中に  
母親が部屋に入ってきて  
慌ててエロ本を机の下に隠したが

あの  
母さん

興味津々なのかズカズカ部屋に  
入ってきそのまま机の下にもぐりこみ  
隠したエロ本を見つけてしまったのだ

...

あの〜

どうしよう

ドキン

ドキン

ドキン

あの〜

やっべち○こ  
でかくなつた  
ままだし

...



昔の癖でつい  
入ってきてしまった  
息子の部屋に…



こんなのと



ドキッ

こんなもの  
おかげで



今まで無意識に  
押さえつけてきた  
欲求が



どうしよう

抑えられな…





ほら父さん  
行つたよ

.....

っ

でも母さんが  
悪いんだからね

.....

急に僕の机の下に  
もぐりこんだりするから

自販機がほら  
潰れたでしょ

は？  
何の話だよ

あなたがいつも  
お世話になつてる  
エツチな本を売つてゐるの

じー

!!?

（てかなんで知ってんの!!）

そ、そんなの知らねーし



隠さなくてもいいわよ  
お母さんも性の目覚めは  
あのビニ本の自販機だったのよ

は!!  
意味わかんねーし

(なんで親子で  
お世話になってんだよ)

夜な夜な  
ほっかむりして

大丈夫お母さん  
手伝ってあげるからほら  
おちんちん出しなさい  
すつきりさせてあげるから

うわあ!!  
何してんの!



ド+

ドキ

ドキ

どうしよう  
でも焦っているの  
悟られたらダメ

母親だし堂々としてなきや  
ここは平静を装うのよ

あなたも年頃で何かと  
溜まってるたりするでしょ  
お母さんがスツキリ  
させてあげる

いっ  
ク

うおっ



トッ

いっ

ハッ

ひてなはい  
おはあはい  
へんほうひんはほう  
へんほうひんはほう

（見てなさい  
お母さん結構  
勉強したんだから）

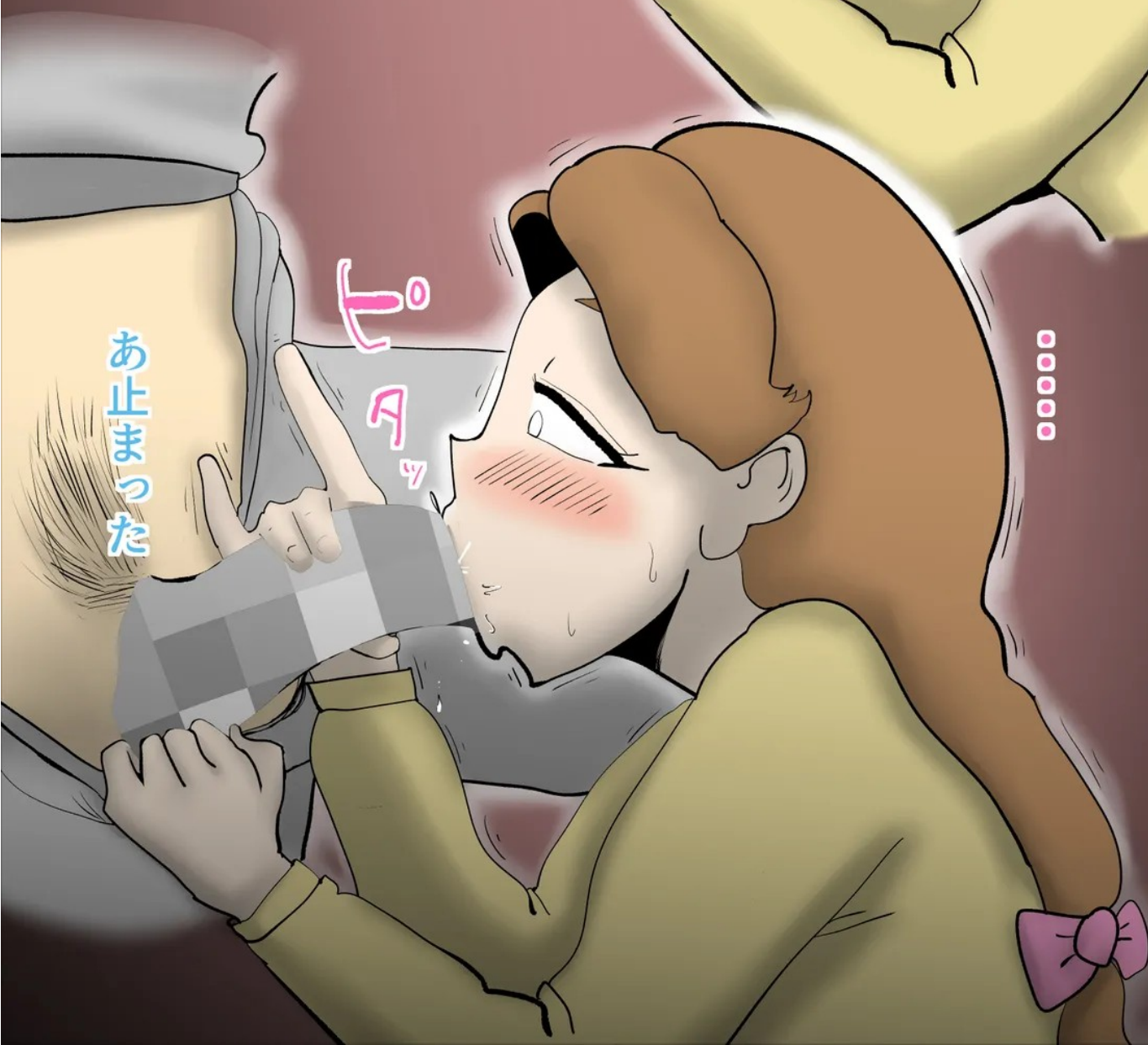
じゃー

じゃー

口の中にちんちん入れて  
喋らないで：  
（何しゃべってるのか  
わかんないし）  
すごい  
気持ちいいから：



うおなんだ  
この吸い付きやべえ  
母さんの柔らかい口の中と  
下の動きで俺のチ○コを  
しごいてくる



あ止まった

.....

フェラチオってこんなに  
気持ちいいのかよお♥

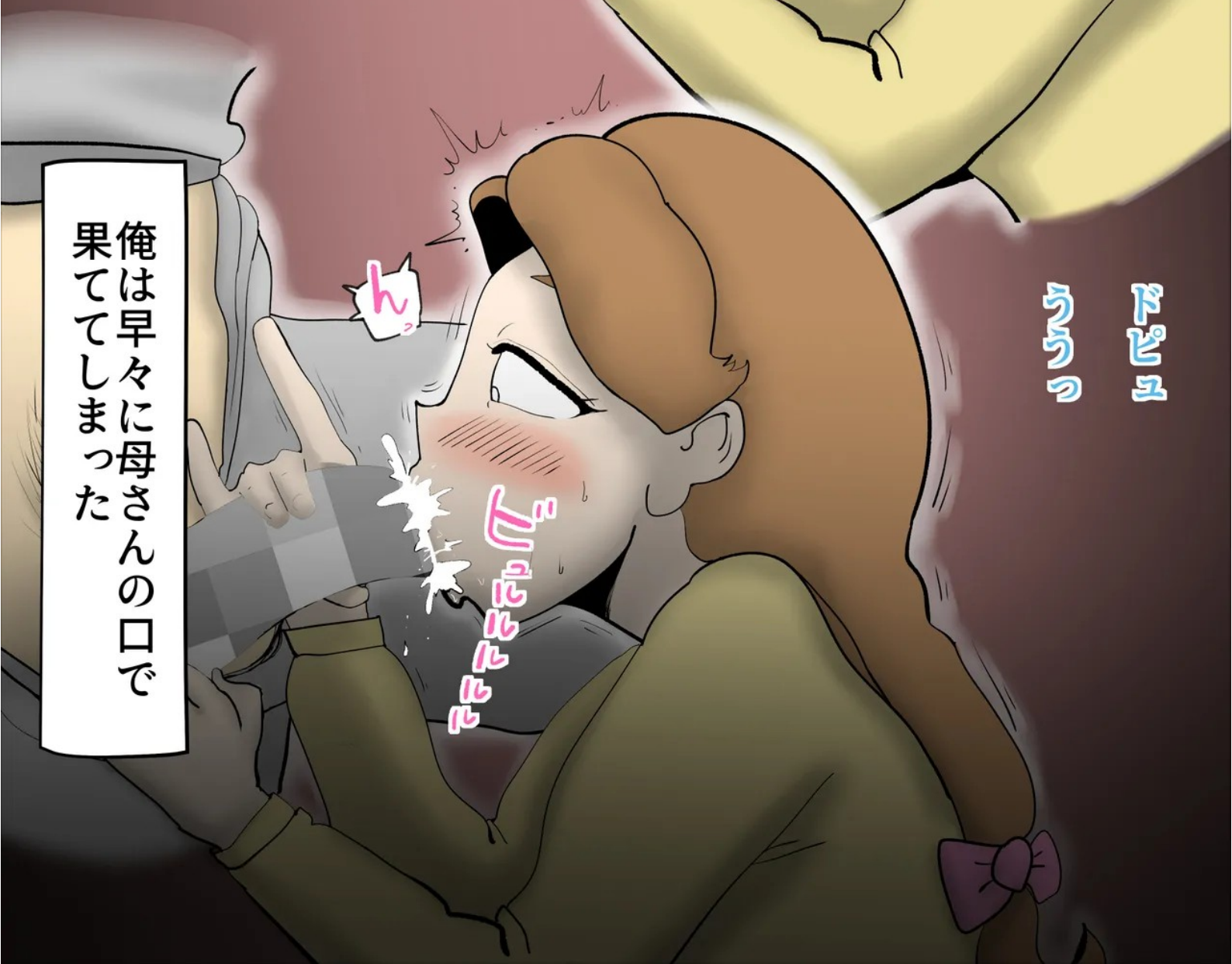


からの  
激しい  
あぁ  
ヤバ  
い  
ストーン  
も  
攻撃  
て  
か  
れる



ドピュ  
ううっ

俺は早々に母さんの口で  
果ててしまった





それ以来、母さんの  
態度が今まで以上に  
おかしくなってきた

父さんが帰りが遅いと  
何かとスキンシップを  
求めてくるし

俺が風呂に  
入っていると

入るわよ

わーわー  
わーわー





はい  
おちんちん出して

だからなんでだよ

いいからいいから溜まってるんでしょ





ほら早く!

ううう...

ポロン

(欲望に勝てない自分が悲しい)

うふふ





こうやって挟んで…えい♡

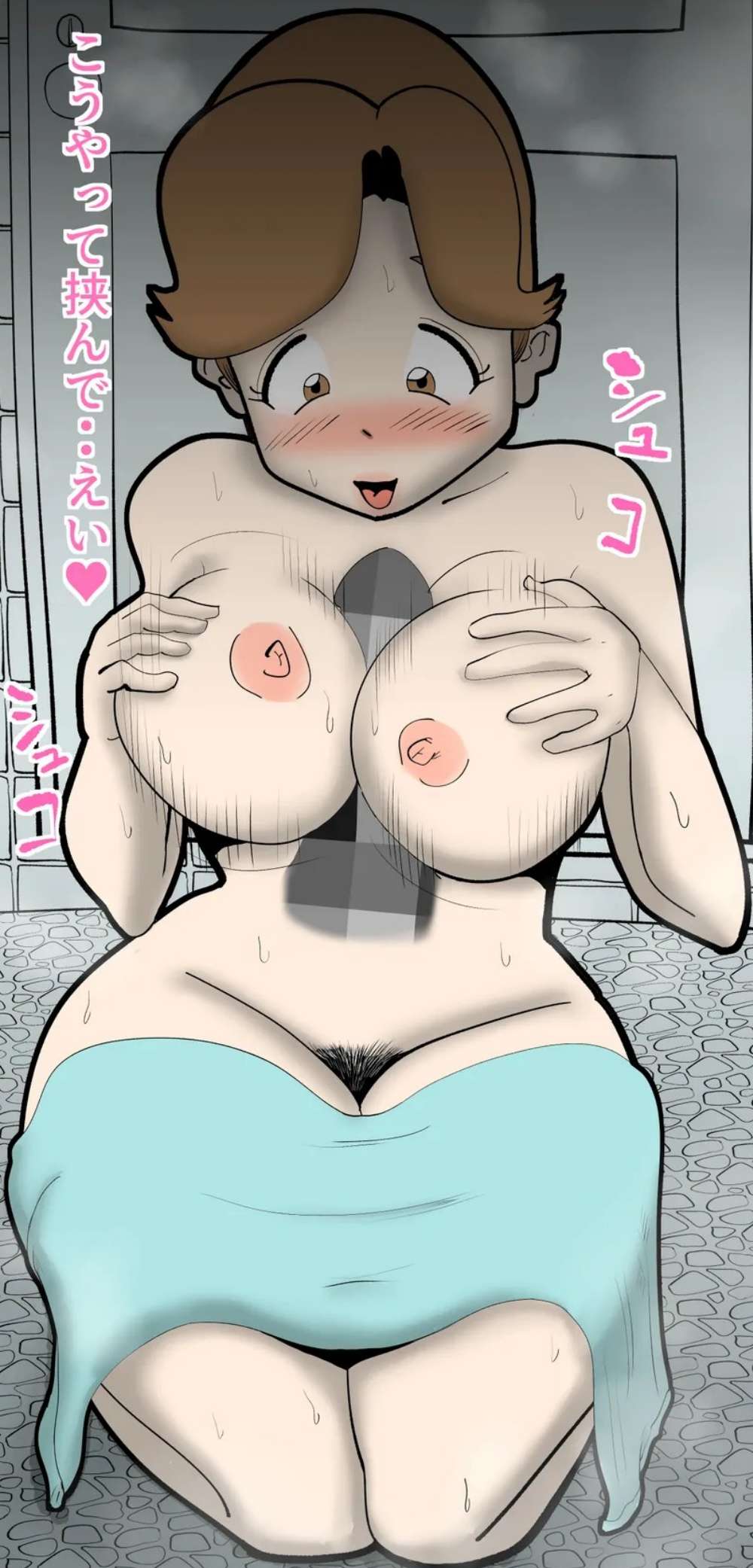
あーヤバイ

どこで覚えた知識だよ  
パイ○リなんて

シューッ

シューッ

だから勉強熱心だって  
言ってるでしょ♡





あごめん母さん  
出っちゃう

いいわよお風呂だから  
いくらでもシャワーで  
流せばいいだけだし

ドピュ

（やばいこれは早々に  
なんとかせねば…）

はいこれで  
スツキリしたでしょ  
溜まってるものはよ  
ちやんと出さないかね♡



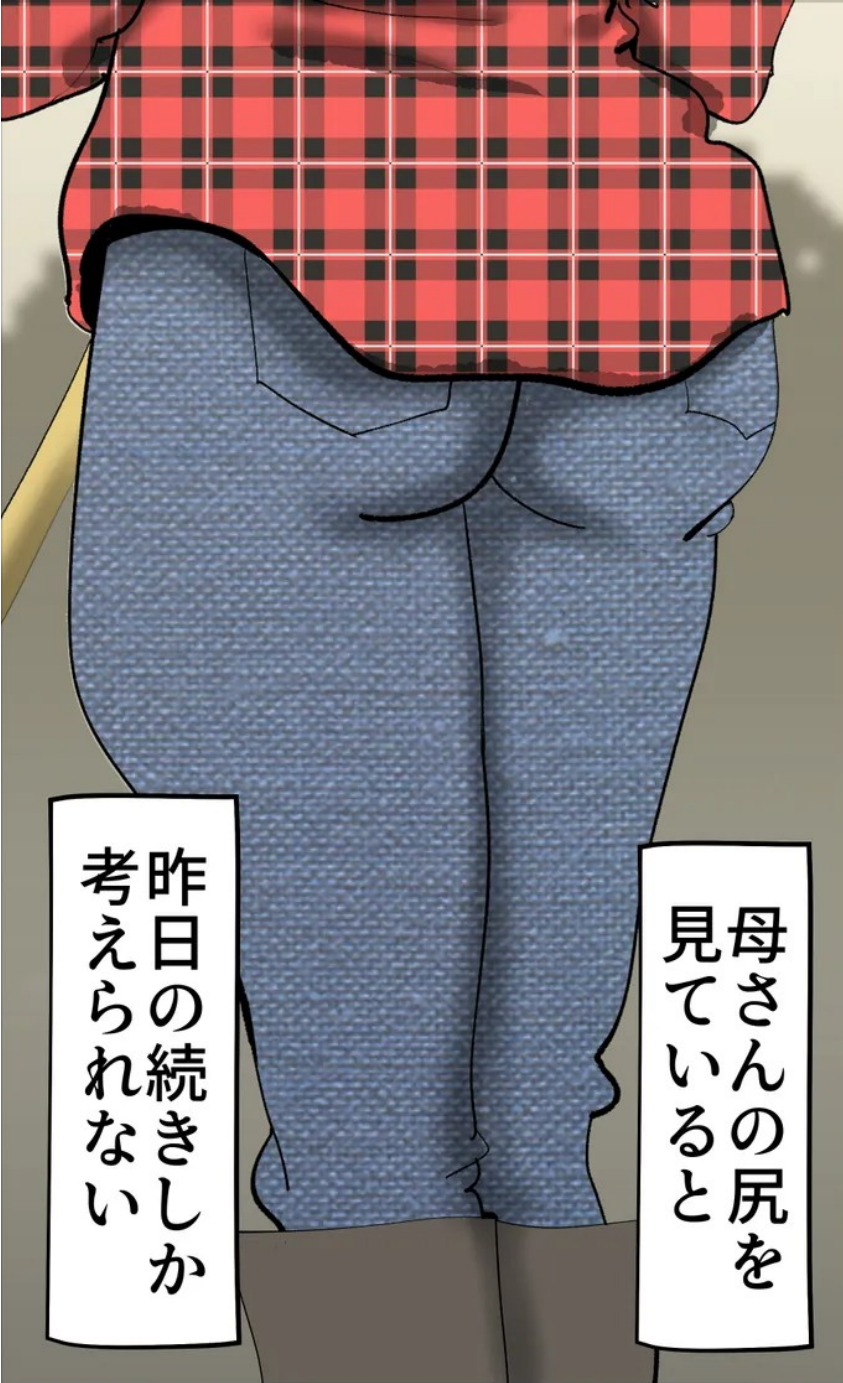


俺の中の野獣を  
何とかせねば

頼むよ、早く  
直ってくれ







母さんの尻を  
見ていると

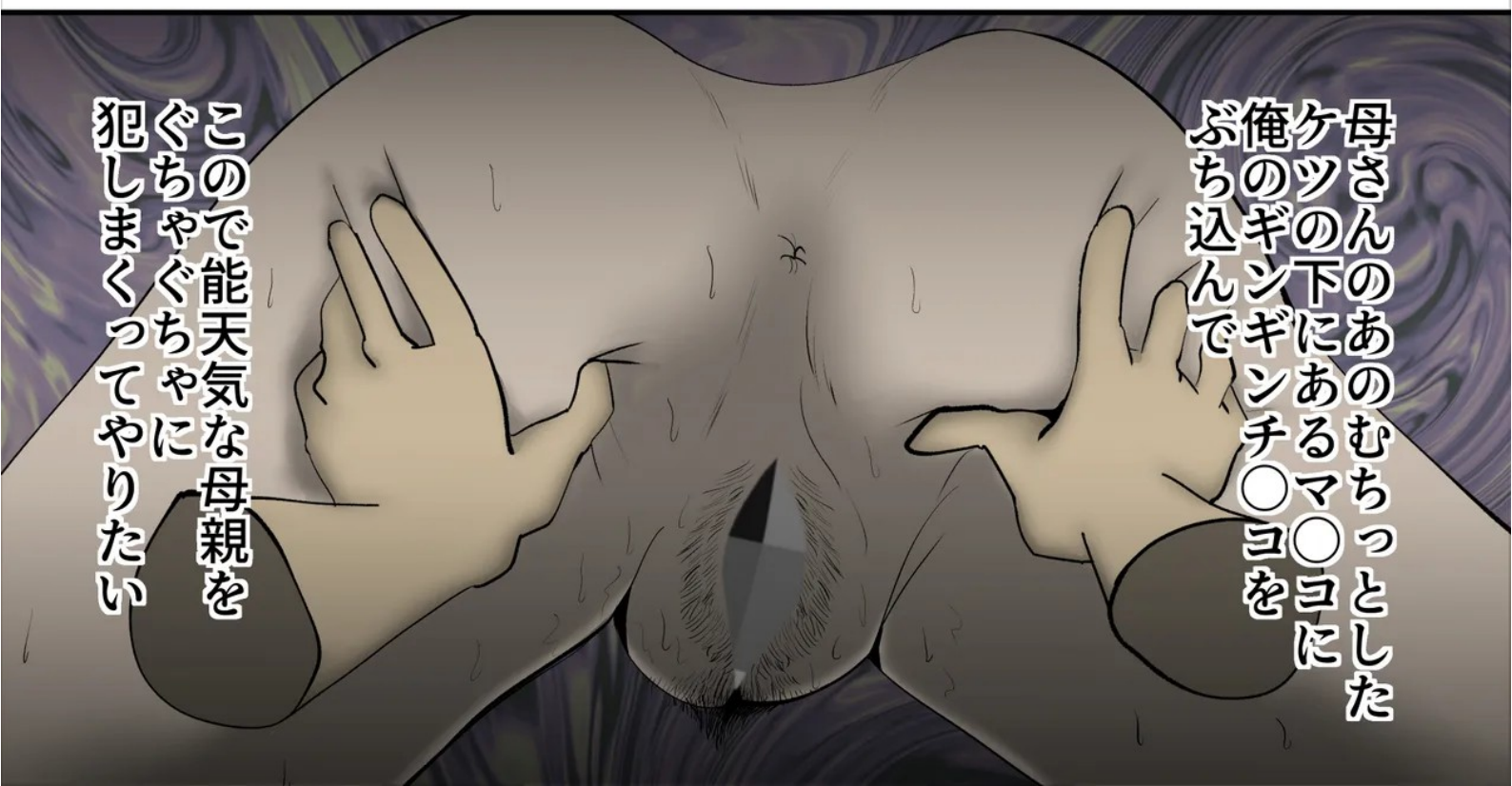
昨日の続きしか  
考えられないか



翌朝

あら  
おはよう

母さんが話し  
かけてくる



母さんのあのむちっとした  
ケツの下にあるマ○コに  
俺のギンギンチ○コを  
ぶち込んで

こので能天気な母親を  
ぐちゃぐちゃに  
犯しまくってやりたい



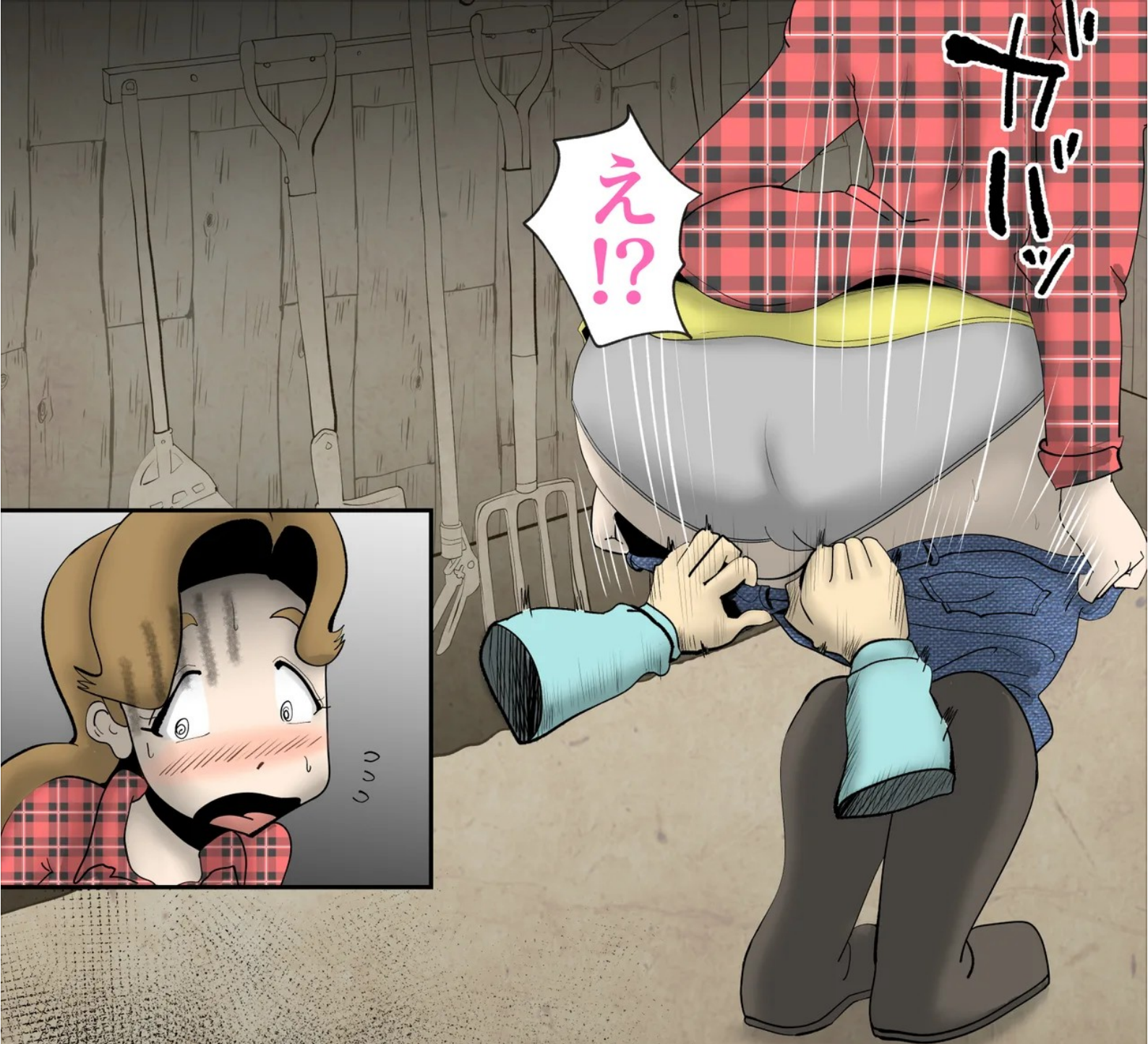
母さん  
あのちよつと話が  
あるんだけど…

え？

どうしたの  
納屋なにかに  
呼び出したの







ちよつと  
何するのあんた!!

母さんごめん

ちよつと俺もう:

我慢できないんだ一回で  
いいからやらしてくんない?

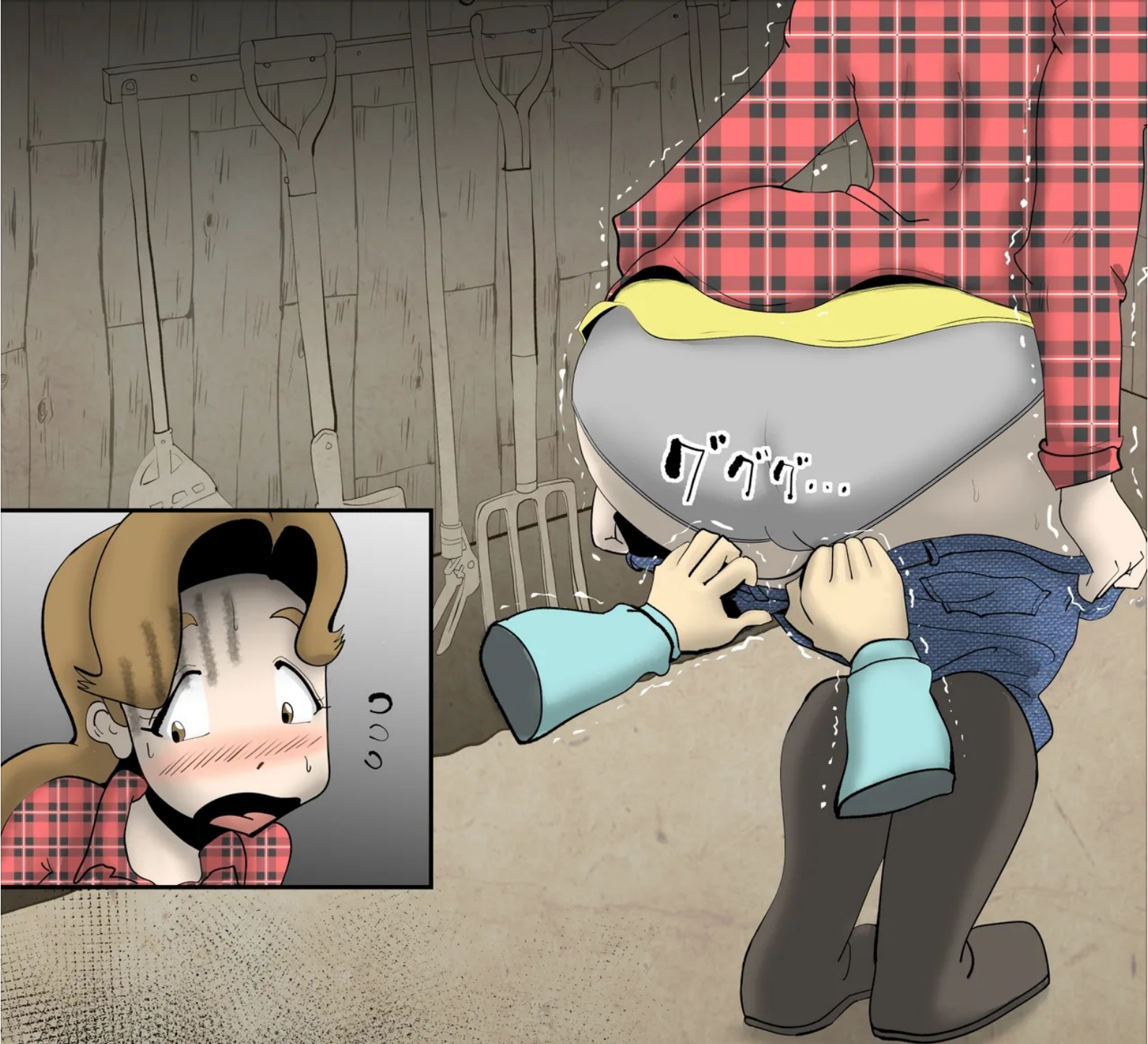
えええつと...

あの、そのお...

お願いします!

(はっきりに言わなきゃ!)





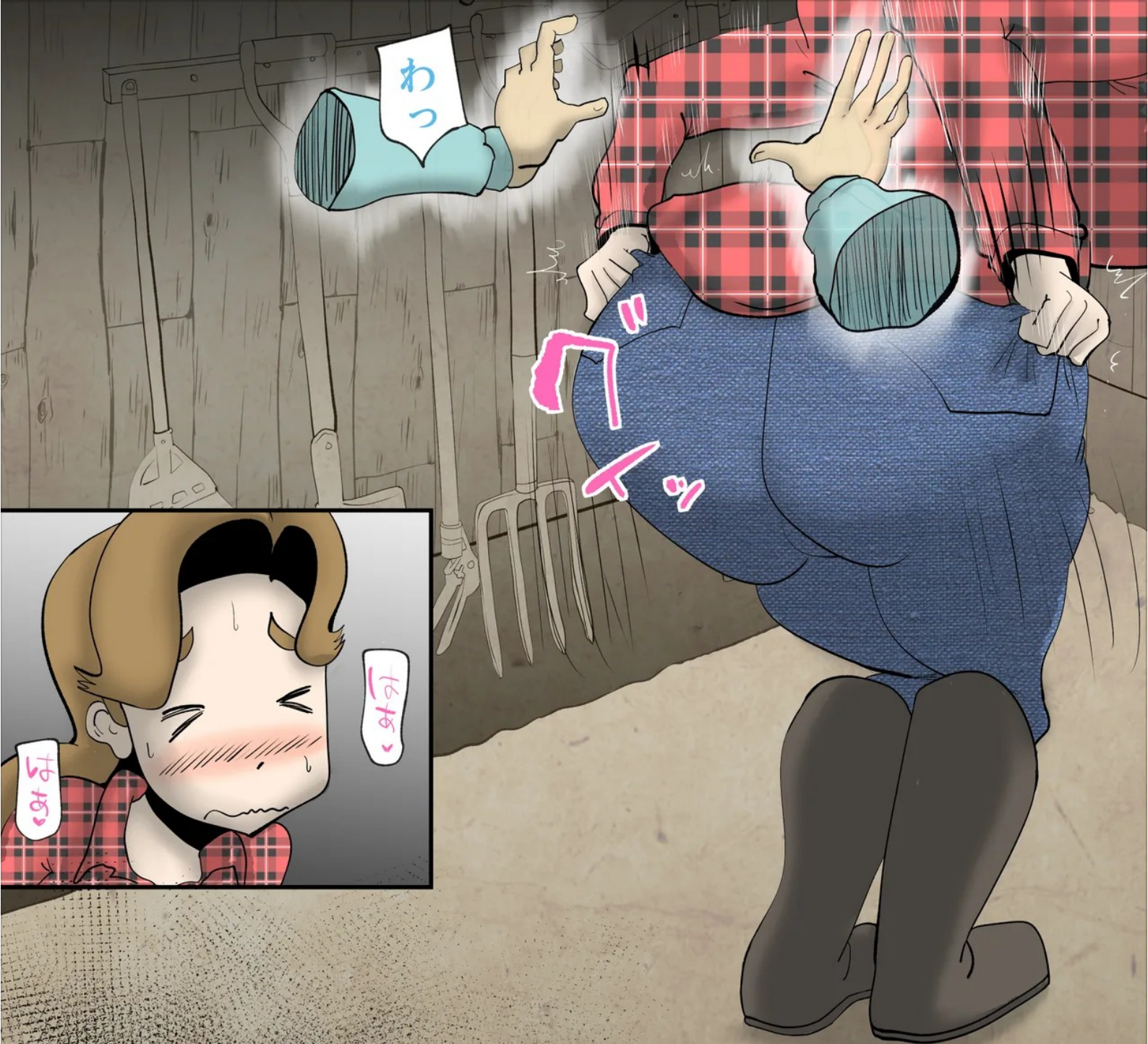
ちよつとあんた正気!?  
お母さんよ?

親子なのよ!?  
こういうことは好きな人  
とするものなのよ  
ダメよ!

お願いだよ  
最近新しい本が購入できなく  
てムラムラが抑えられない  
んだよ!

ダメよダメ!  
こんなこと許させるわけ  
ないでしょ!





何言っただよ母さん！  
あんなに俺のチ○コ  
しごいて

あんなので俺治るわけ  
ねーだろ！！

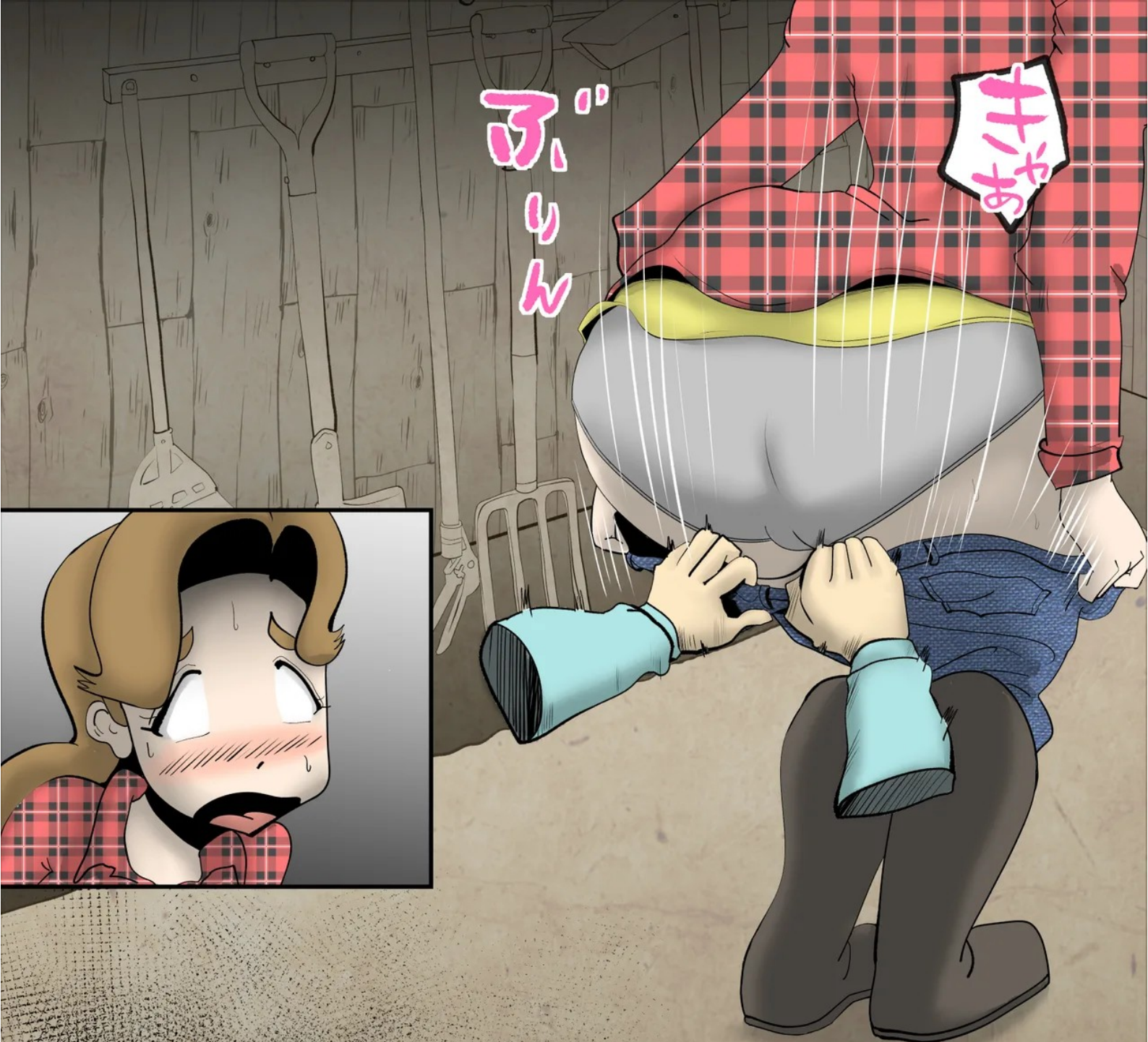
あれは良かれと思って：

手え出すなら  
終いまでやれよ！

口で胸での次は中で出すのが  
セオリーだろ！

（言ってる俺も自分で何を  
言ってるのかわからなく  
なってきた）





あんな頭おかしいか  
何言ってるん？  
中に出したら赤ちゃん  
できちゃうでしょ!?

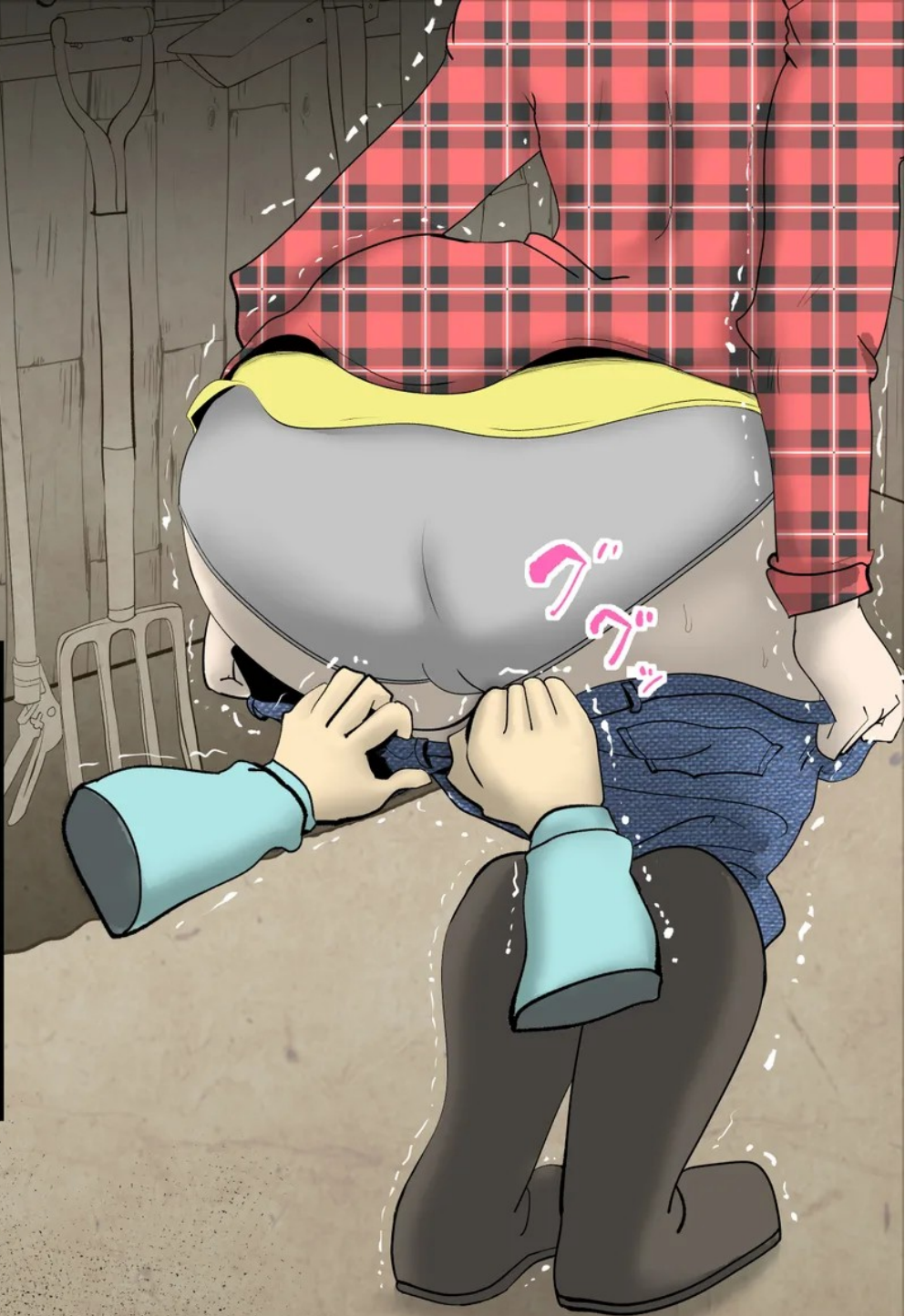
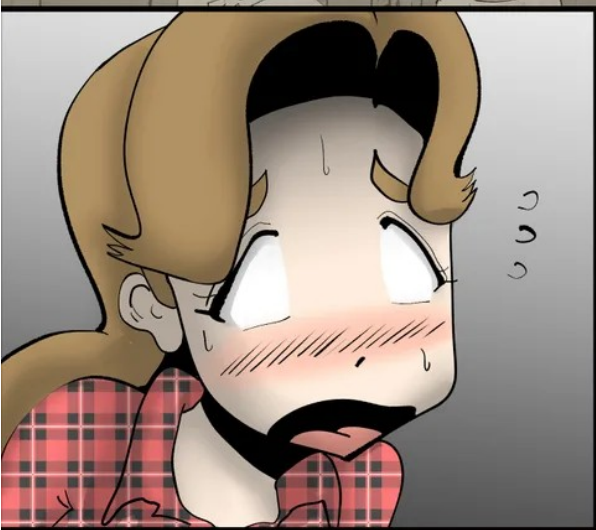
(よしよしイイ感じに  
話題がずれてる)

手出てきたのはそっちだろ  
ちゃんと責任とって最後まで  
気持ちよくしてくれよ!

…ごめんごめん  
確かにお母さん勘違いしてた  
若い子はお盛んだから  
ボランテイヤ精神ていうか  
なんていうか…



もういいでしょ  
さ、離して



何言ってるんだ！  
昨日あんだけ  
息子の股ぐらさ  
弄つていて  
それはねえよ  
息子だからって男の  
性欲舐めるでねえ！



……ごめんなさい

（つい興奮してうっかり  
口を滑らせてしまった）



俺はさらに母親のズボンをおろす手に力を込めた

考えたら私にも落ち度があつたわ…



良かれと思った事がこんなにも息子の事を歪めるなて申し訳ねえ

やったー！

…  
少しだけよ





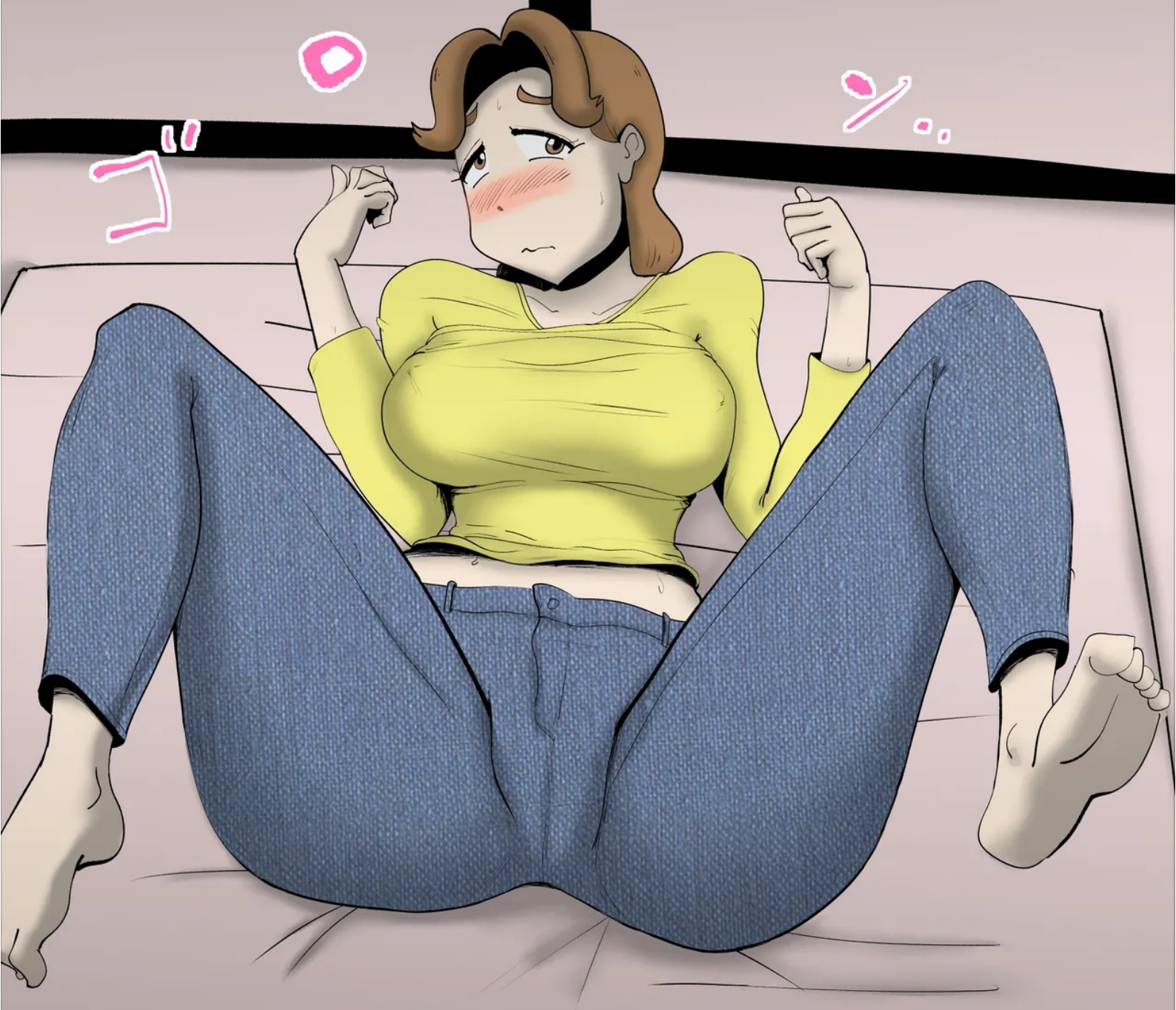
家の離れに  
部屋があり  
俺たちはそ  
移動したこ

ちようど今  
父さんは畑  
家にはいな

俺は来客用  
押し入れか  
母さんを横







一回だけよ一回したら  
おしまい

わかってるさ  
俺だっつてそんな  
母さんの事なんか…





何よその言い方

……

（どうしよ、母さんが俺の  
ために股を開いて……）

そんなジロジロ見ないで

見てねーし  
（ヤバい正直めっちゃ  
興奮してる）

俺はゴムを装着して







ゆっくりゴムをつけ自分の  
チ○コを母親のマ○コに  
近づけて密着させた

んっ♡

母さんの身体がプルプル  
震えている

俺は構わず自分のチ○コを  
母さんのマ○コにゆっくり  
ねじ込んだ





はい

ぞ

ぽ

うう♡

入った♡

はあ♡

俺にも母さんの膣の中の  
肉の具合がチ○コを通して  
伝わってくる

母さんのマ○コがうねうねと  
動きたびに  
俺のチ○コを優しく包み  
込んでくる

んっ♡

（母さん頼むからあまり  
動かないで）

瞬間、俺はもう  
射精していた  
ビクンビクン





(射精してしまった...)

そんなことで俺のチ○コは  
収まがはつかず...

母さんごめん  
ちよつとお尻  
突き出してくれる?

えっ?

射精したことをごまかすため  
俺は母さんに注文をつけた

ええつと...

母さんもまだ物足りなかった  
のか素直に聞いて  
お尻を突き出してきた

こ、これでいい?

俺はふとそこでよからぬ  
考えが浮かんでしまった



一度射精してしまったから  
しばらく射精しないんじや  
ないか：

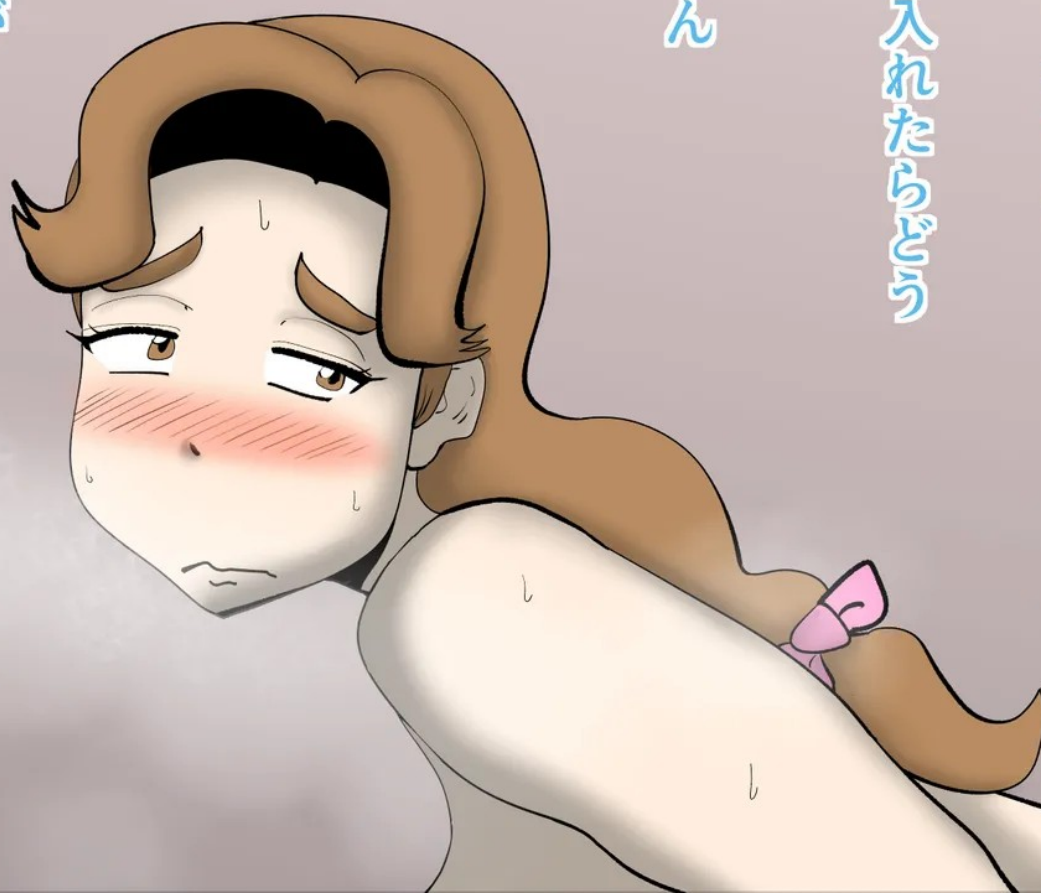
このまま生で入れたらどう  
なるんだ

入れるよ母さん

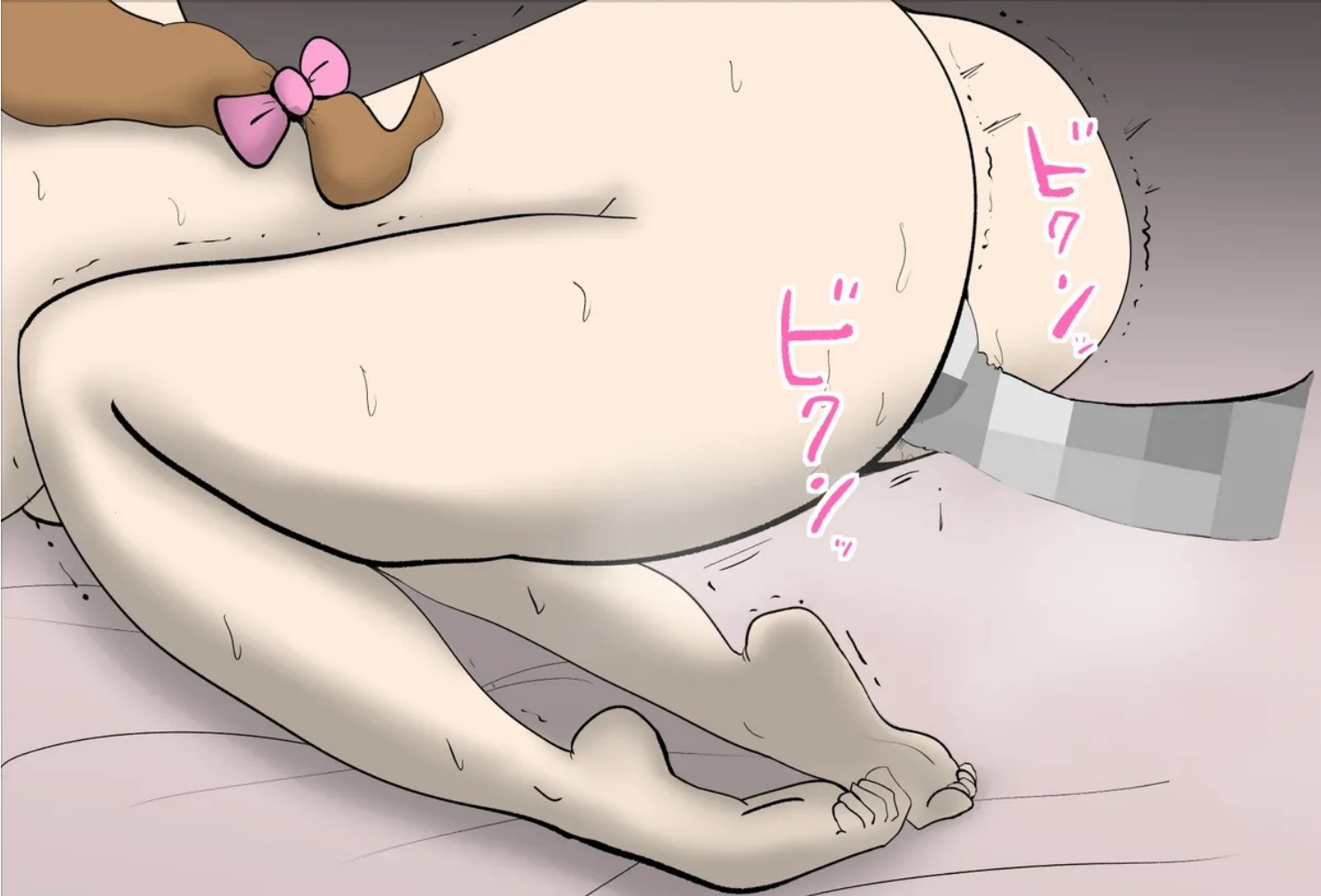
早くしなさい

ズブズブ…

母さんの返事が  
帰ってくるか否かに  
俺は生チ○コをお母さんの  
マ○コにゆっくと  
突っ込んでいった







んああッ♡

母さんのさっきとは明らかに  
違う声が聞こえてきた

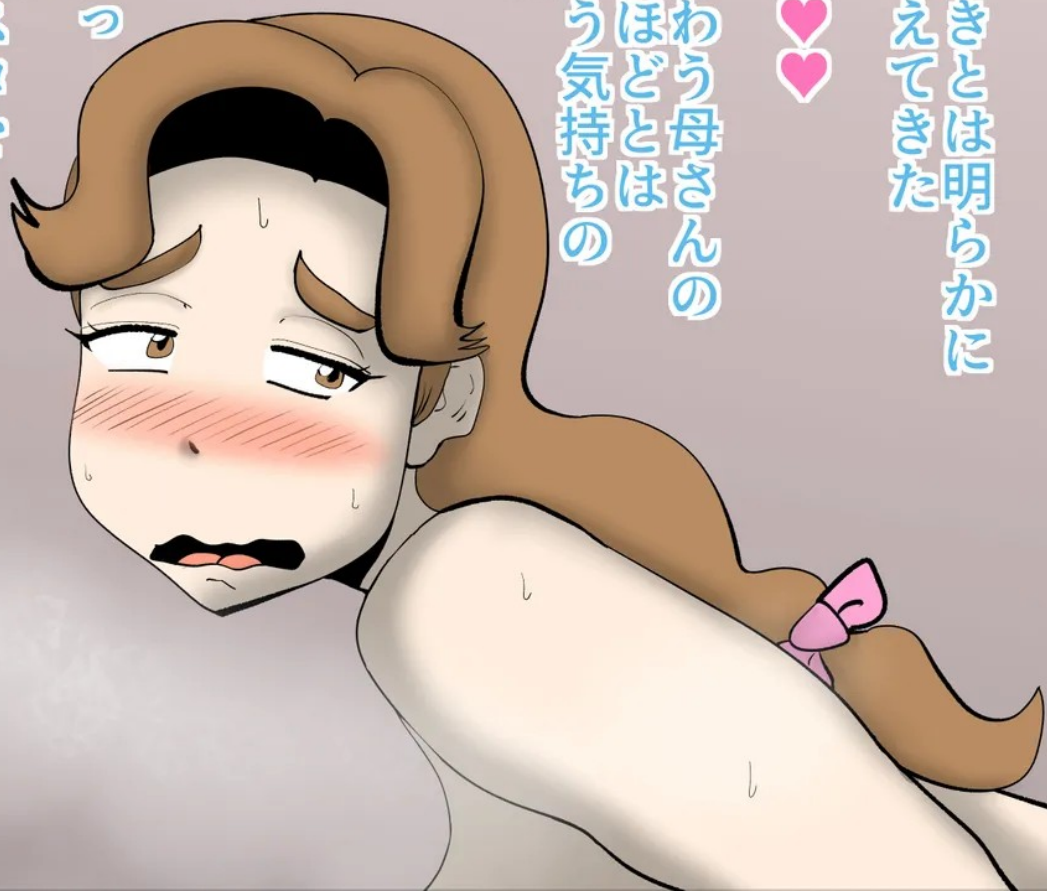
んんんふっ♡♡

生チ○コで味わう母さんの  
膣の感触は先ほどとは  
全く次元の違う気持ちの  
良さであった

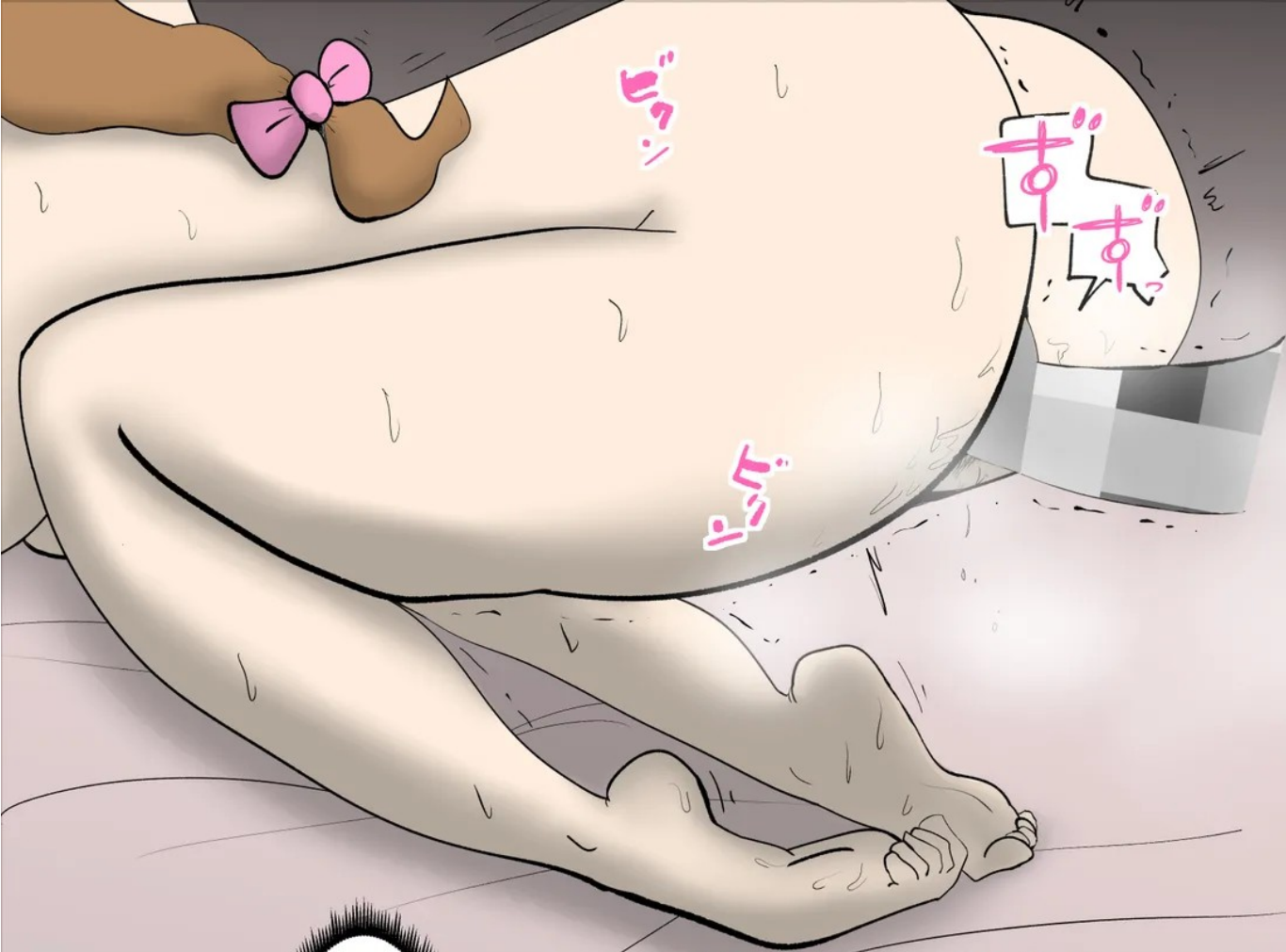
はああ♡

先ほどのゴムの  
越しの肉襞の  
感触がダイレ  
ク○に俺の  
チ○コに伝わっ  
てきてさらに  
優しく俺のムスコを  
包み込んでくれる

はっ♡いいいいわよ、すきに  
動きなさいっ：はああ♡







俺のチ○コは射精という表現を  
一時的に禁じられ

快感の行き所をどう表現したら  
いいかわからなくなっているようで

少し苦しいやら  
心地いいやらの感触に  
浸たりながら  
この状況に陶醉してた

う、動くよ

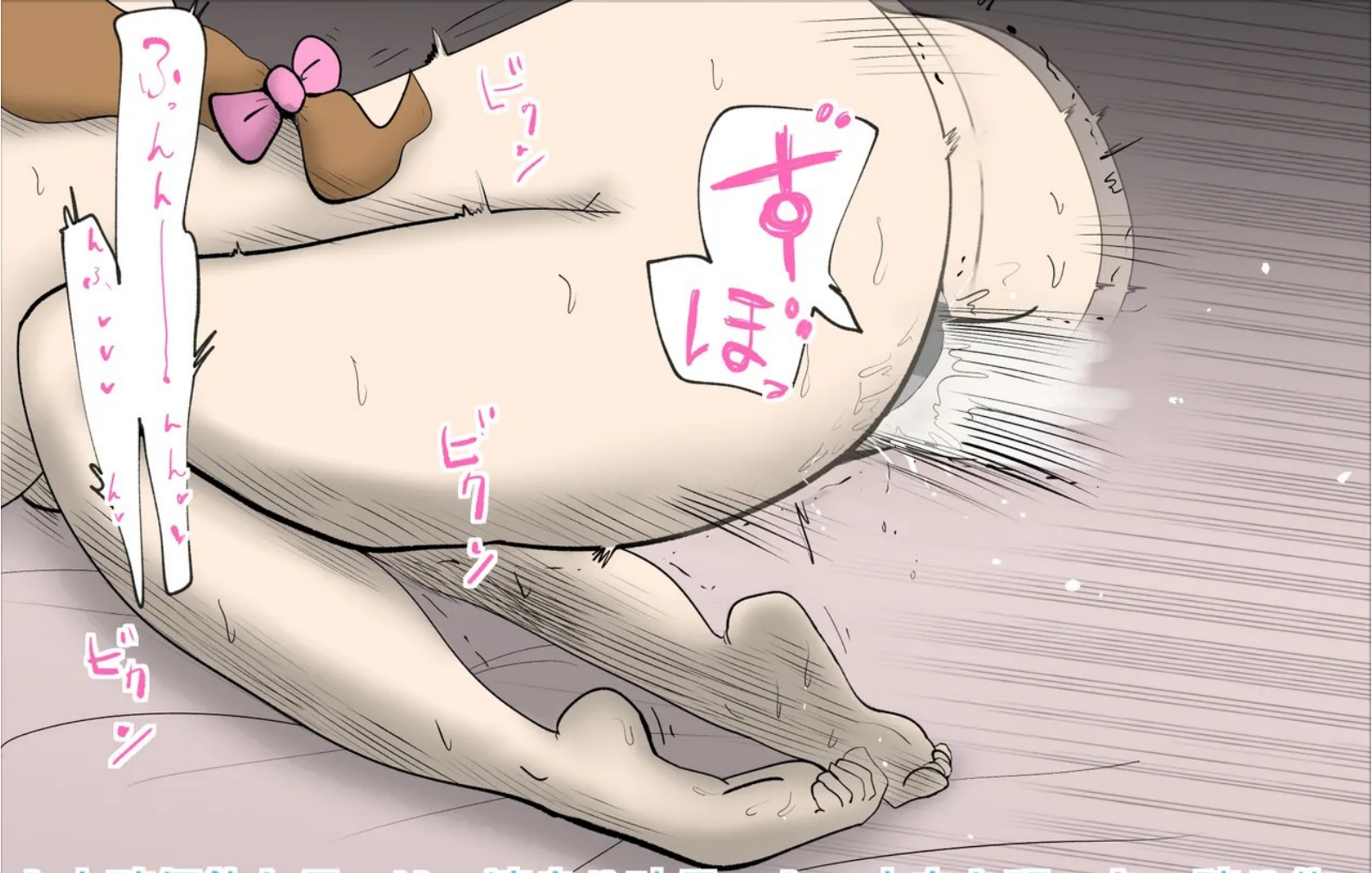
はあはあ♡  
いいわよ  
き、きなさい

どうなってんの!?

さっきより  
ずいぶん  
ヌルヌルして  
気持ちいい♡







俺は射精しない自信があったので  
そのまま母さんの中へ俺のすべてを  
躊躇なく突っ込んだ

あああああ♡♡

明らかにさっきとは違うお母さんの  
あえぎ声を聞きながら俺はもう  
自分の腰を動かしたい欲望を  
止められなくなってしまうた

クチュぐちゅぢゅちゅ♡

母さんの肉壺をもっと

味わいたいもっ

その快楽を

身体全体に

連結させたい

はあああん♡んはっ♡

母さんの肉襷は

なお俺のち○こを

飲み込んでいき

優しくしかし

確実に俺を締め

上げて俺を射精へ

と誘ってくる





はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ

後ろから  
突かれながら  
考えていた

実の息子とこんなこと  
するなんて……♡

こんなことお話の中だけおもった  
けどこんなことするなんて  
罰当たりなこと……♡





息子の腰の動きが  
早くなるのを感じた

はっ  
ちゅ♡

母さん  
俺、弟ほしいんだ  
生んでくれよ

はあはあ♡  
え、何？

だから  
俺の弟生んで

はあはあ♡  
弟が...  
何だって...はあ♡

はっ  
ちゅ♡

はっ  
ちゅ♡

はっ  
ちゅ♡







ほらもっと  
孕め!

ああ♡  
だめ、そんなに奥まで  
入れないで

息子が腰を振りながら  
何かしゃべって  
いたけれど

私はうまく聞き取れず  
息子との行為について  
いくので精一杯だった



母さん、父さんと  
アリバイセツ○ス  
しておいてね

あれ、なんでゴム  
落ちてるの？

きつと新しい  
ゴムのに替えた  
のね：  
私はそう思い  
一抹の不安を  
頭から消し去った





：アリバイ？  
どうゆうこと？

は  
は

は  
は

は  
は

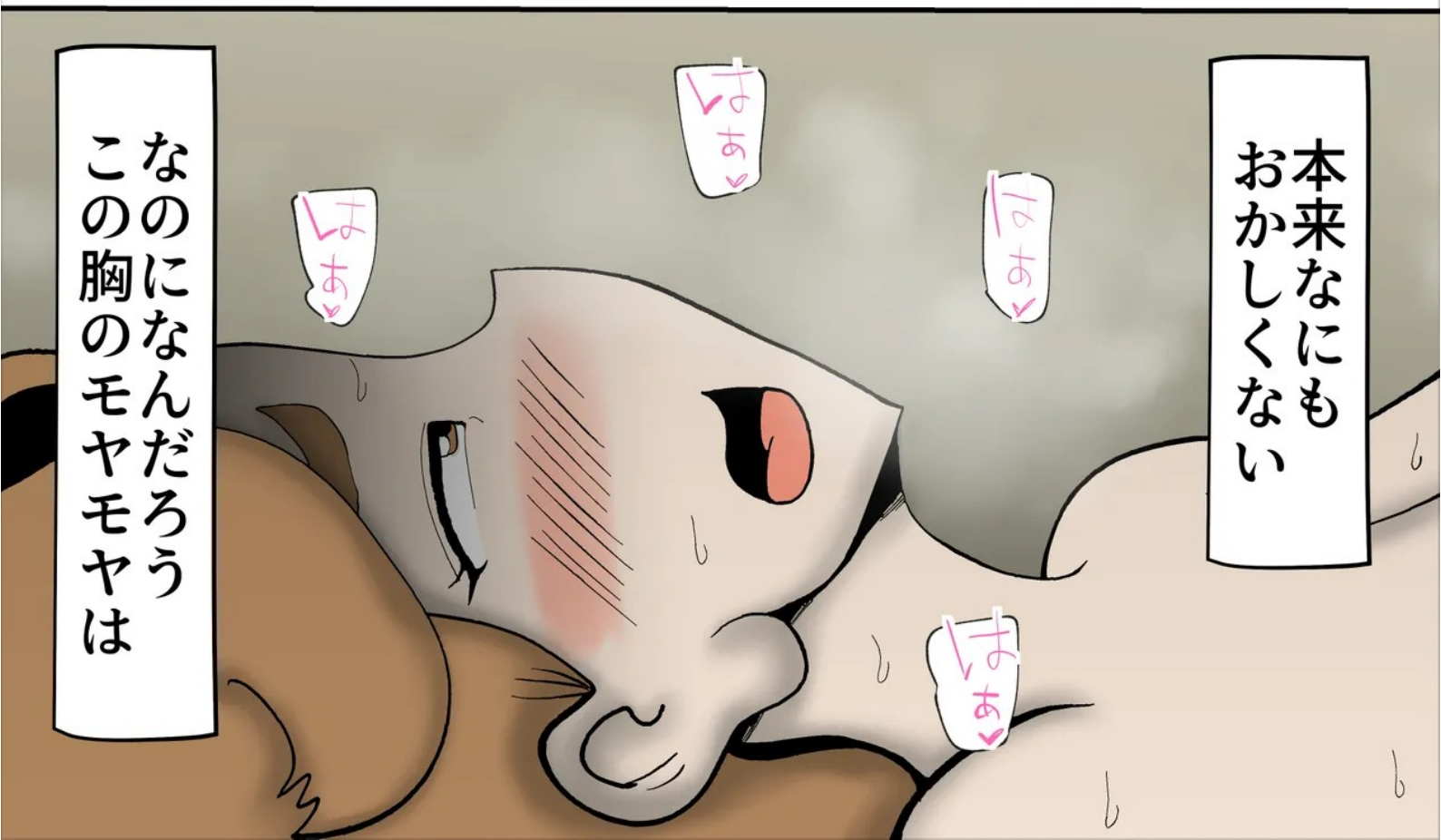
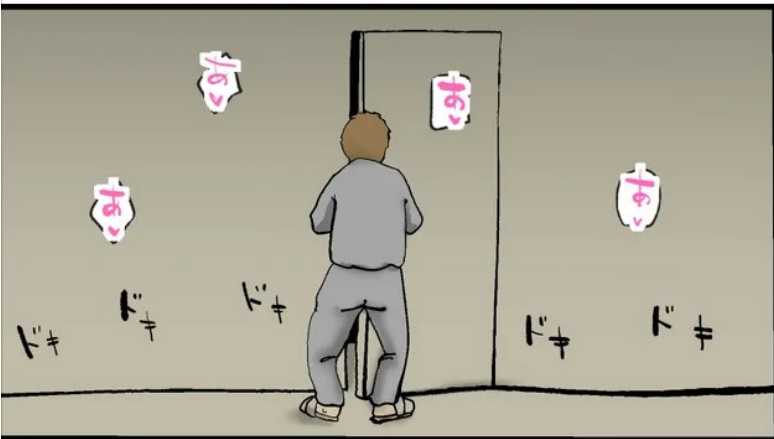
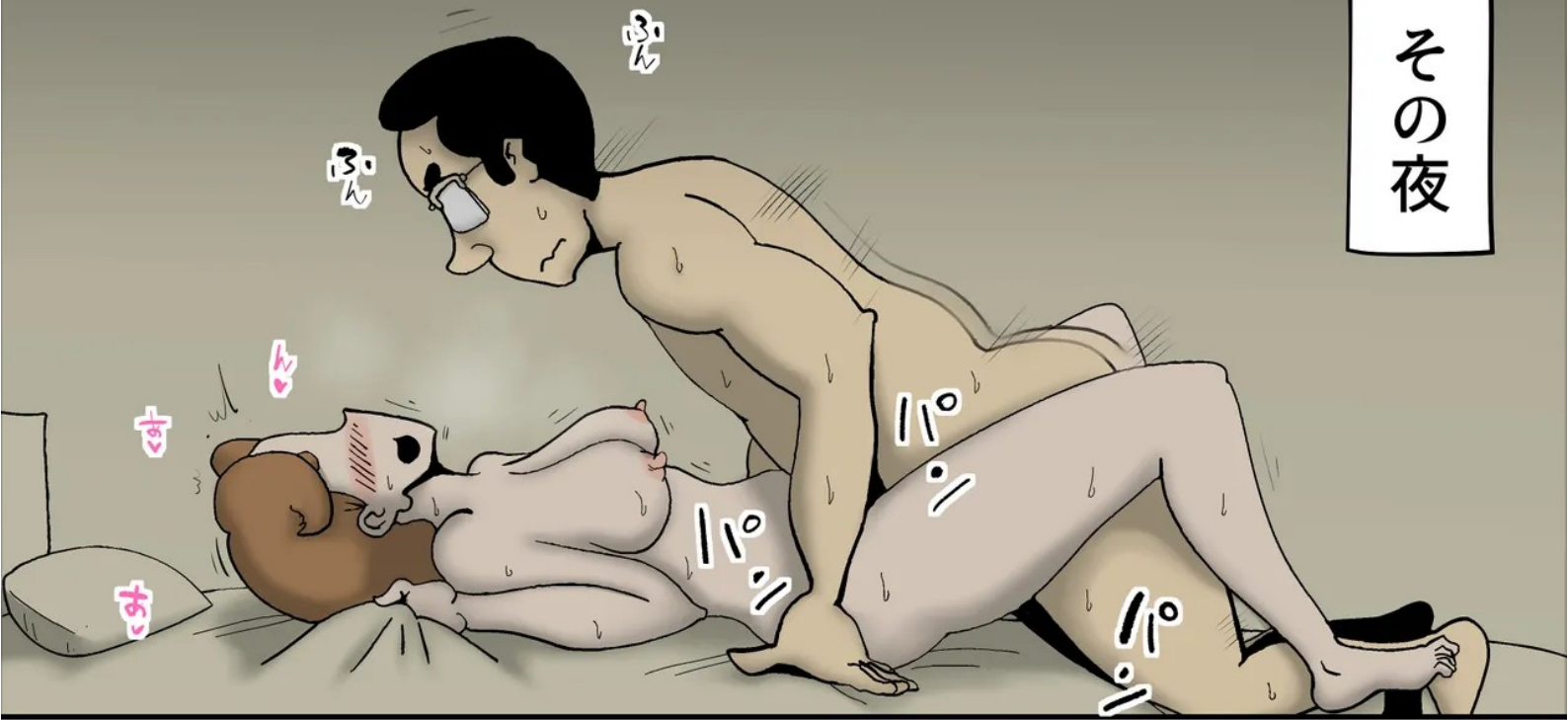
うわー







その夜



なのになんだろう  
この胸のモヤモヤは

本来なにも  
おかしくない



数日後





す。



ガ



ガ

それからというもの  
僕たちは  
父さんに隠れて

あんなことや

こんなことを  
してるうちに…

ちよつと  
ダメよ

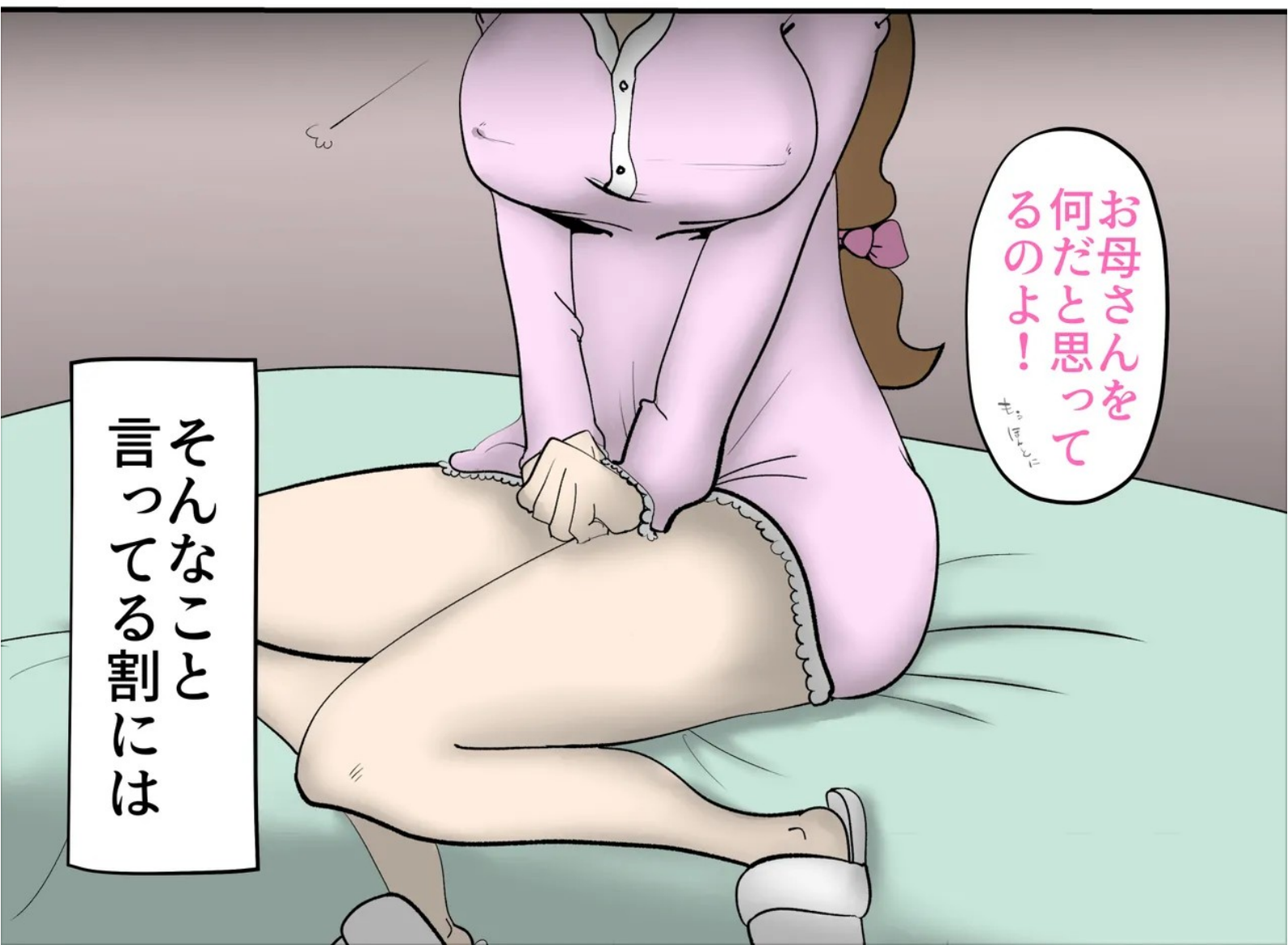
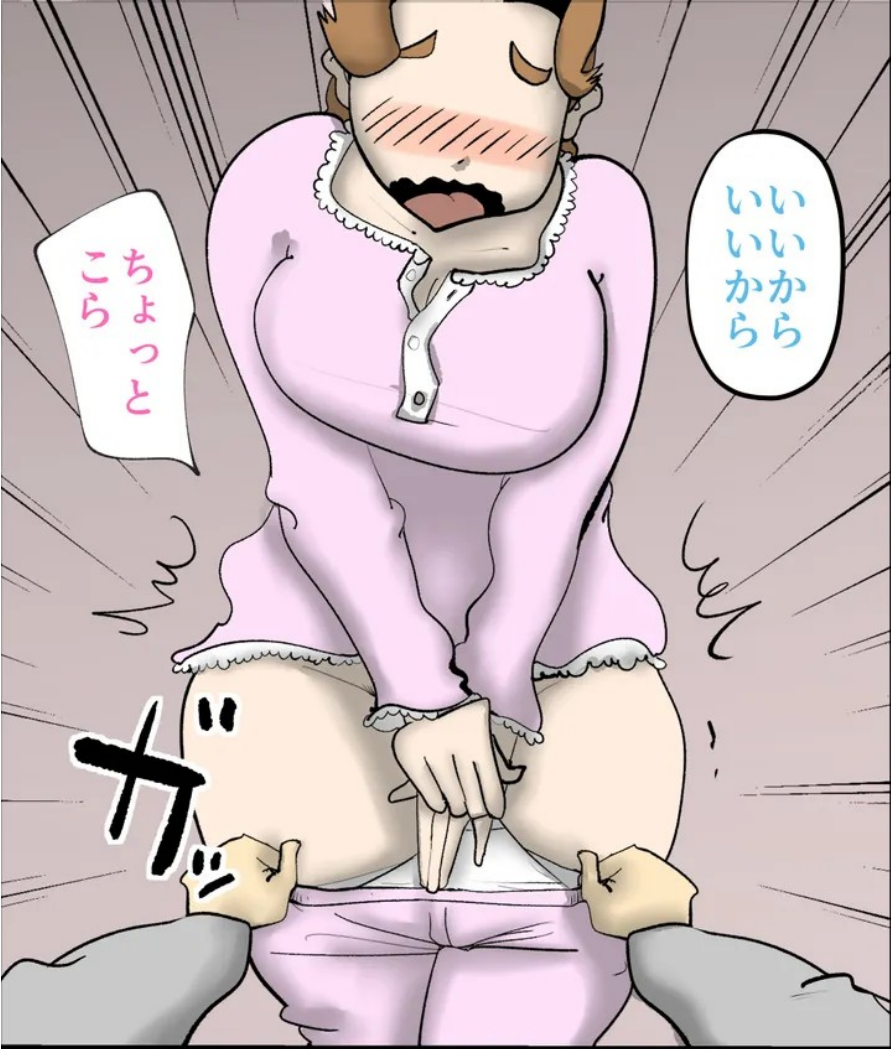
お。

グ

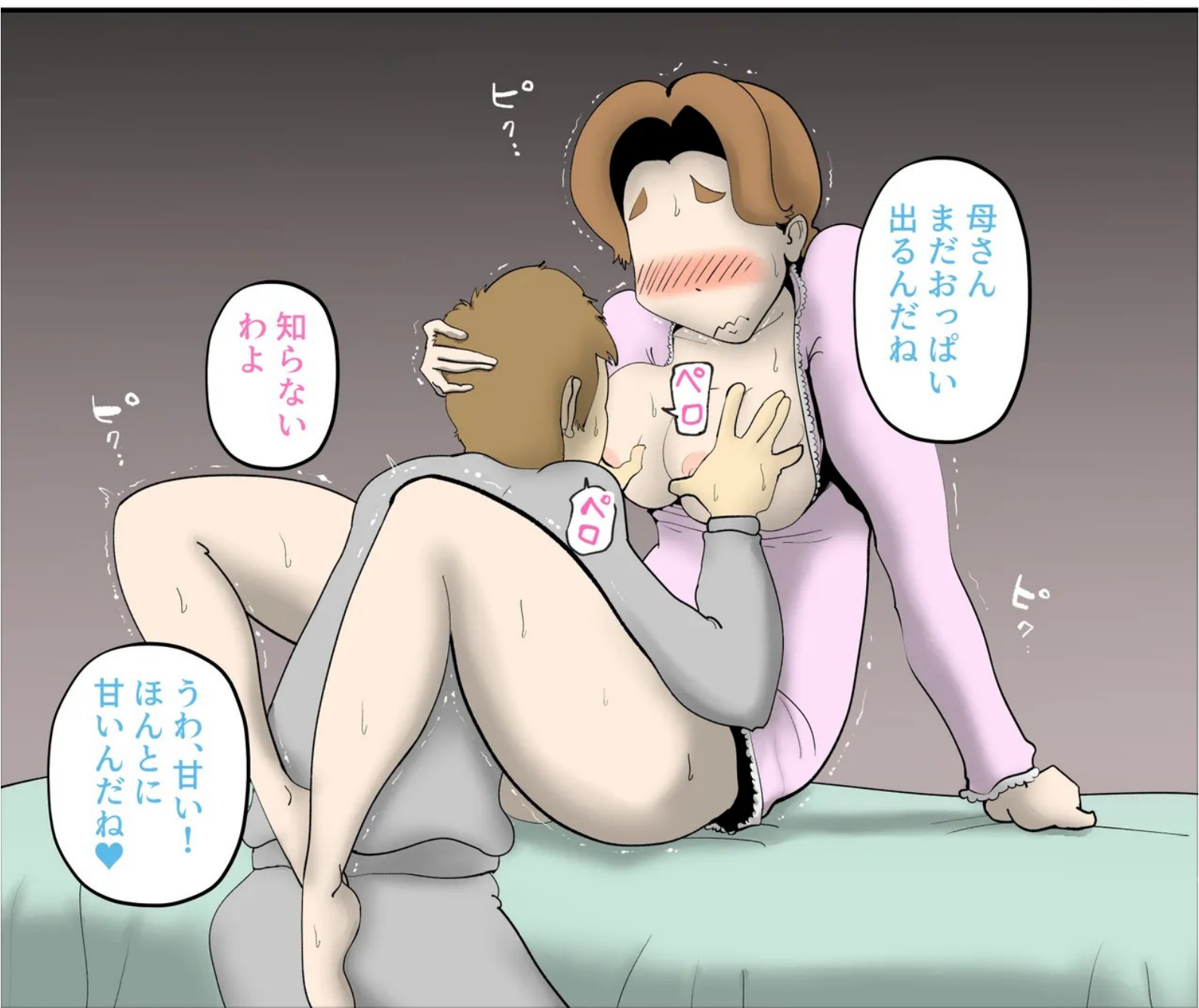
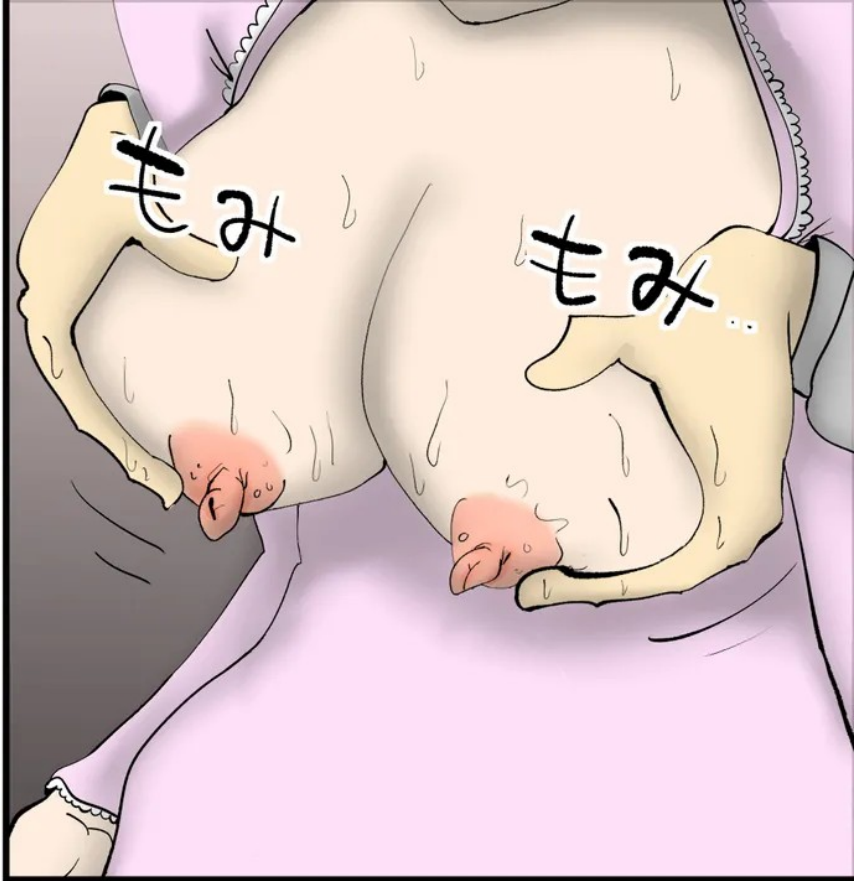
ツ













母さんもずいぶん  
その気になってきて



なんて  
言い出す始末

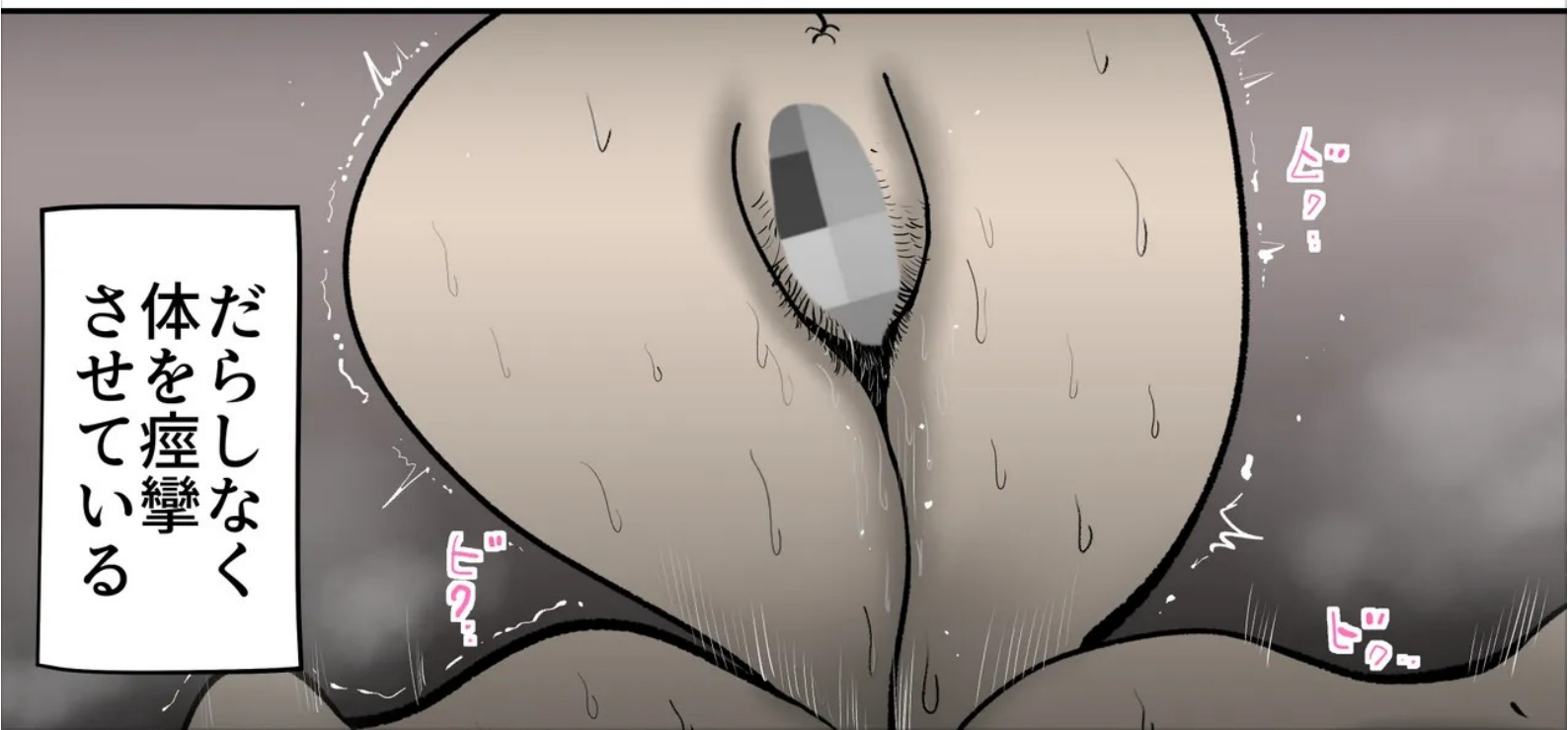




自分から  
腰を振って



だらしなく  
体を痙攣  
させている











私の気持ちいい  
とこばっか  
攻めてきて

ズ  
ズ  
ズ  
ズ

し  
ッ  
ン  
ッ  
ン  
し  
て  
く  
る  
ン

私が  
その  
なっ  
この  
子  
に  
き  
た  
ら  
お  
ち  
ん  
ち  
ん  
を  
引  
込  
め  
て  
ず  
い  
る

おおっ♡

ビ  
ッ

ビ  
ッ

ビ  
ッ

ビ  
ッ

フ

ビ  
ッ

ビ  
ッ

...



やだ  
外でだ  
こすつてないで  
早く入れてよ

ゴクッ

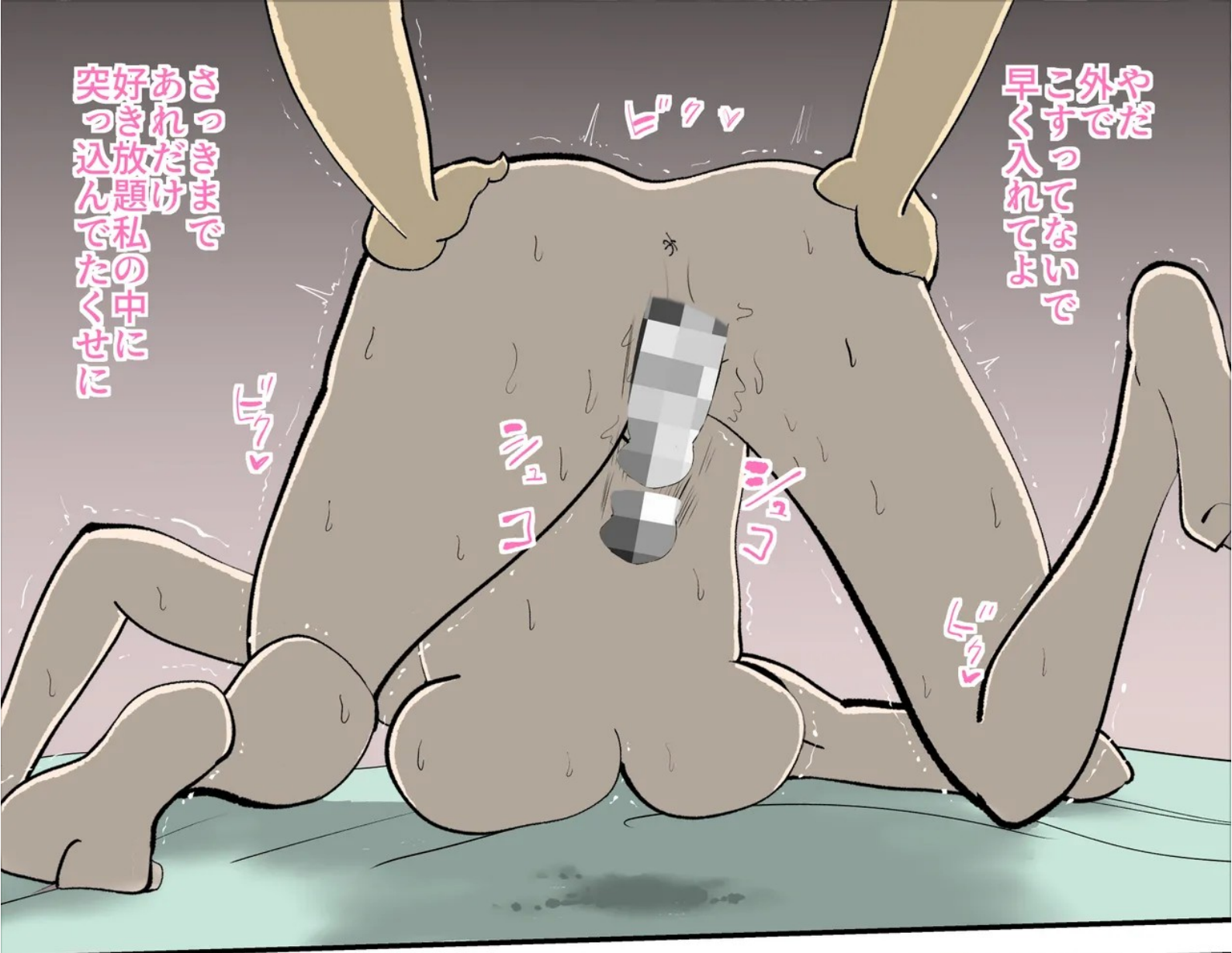
さっきまで  
あれだけ  
好き放題  
突っ込んで  
たぐせに

ゴクッ

ゴクッ

ゴクッ

ゴクッ



ふー

あ、いいッ♡  
気持ちいい…  
やめられない♡

♡♡♡

♡♡♡

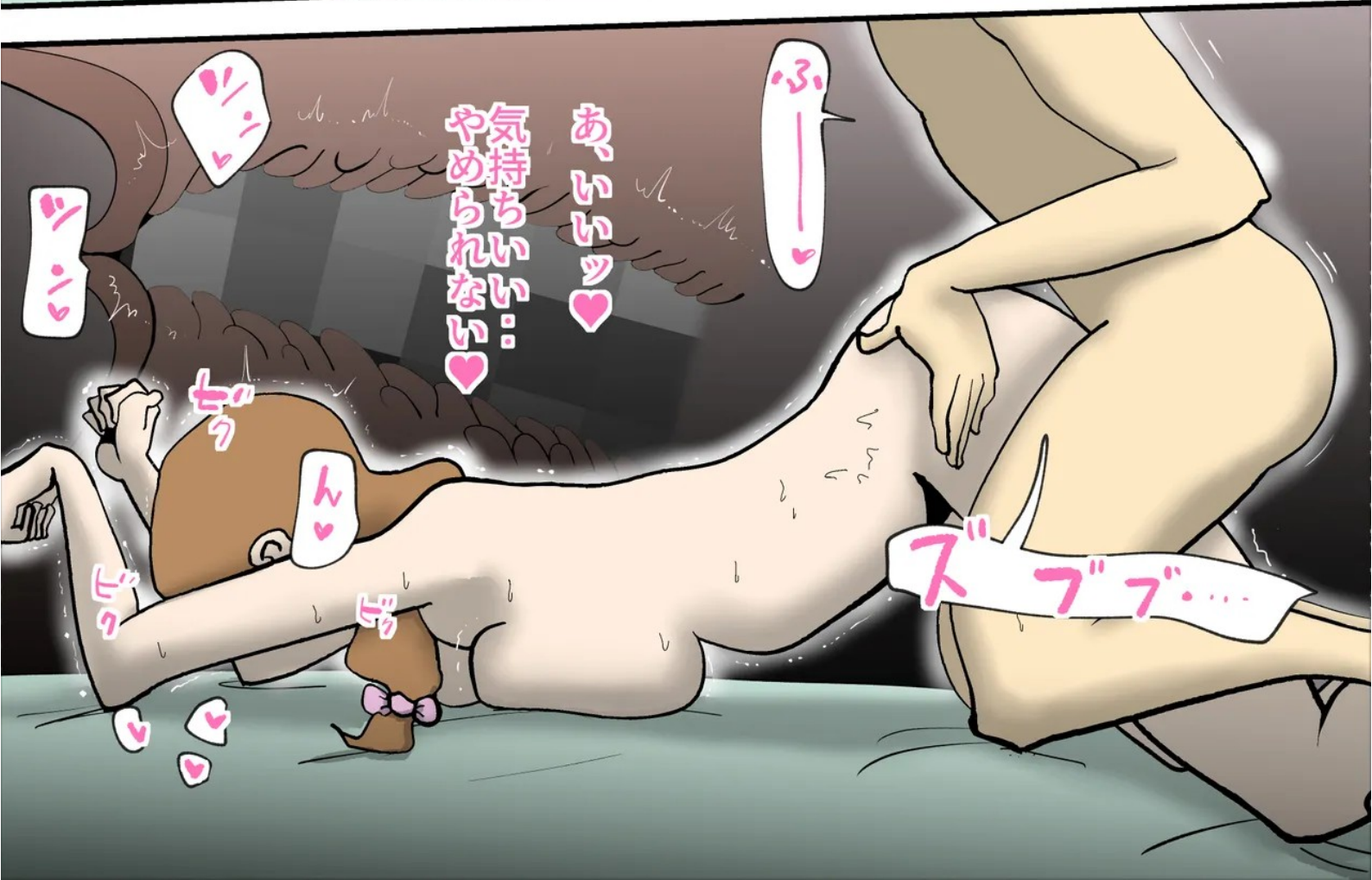
ゴクッ

ん♡

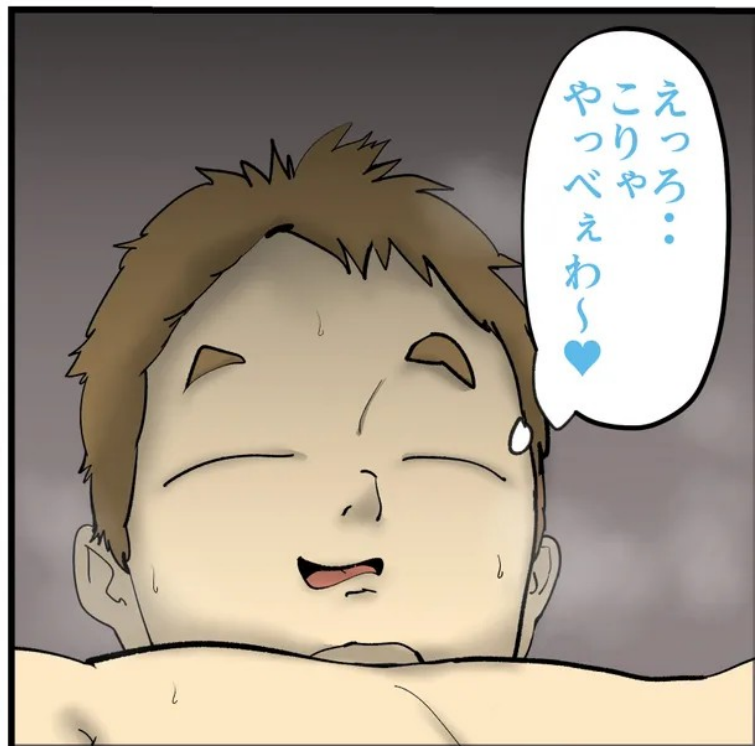
ゴクッ

ゴクッ

ズブズブ…



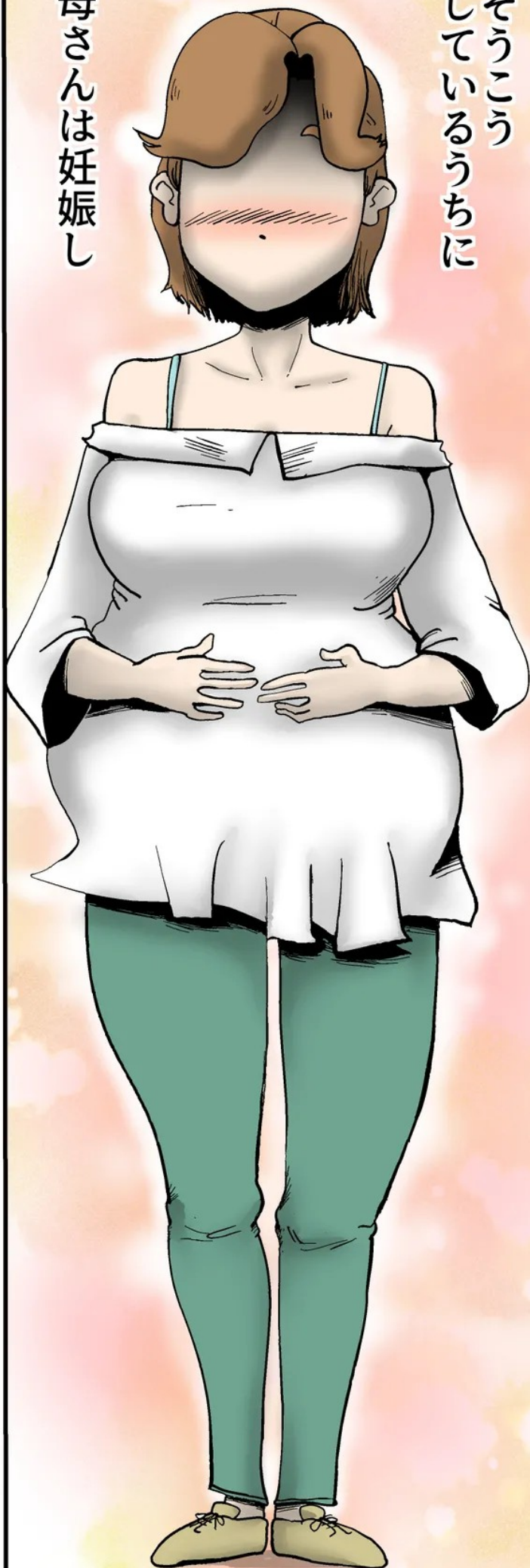




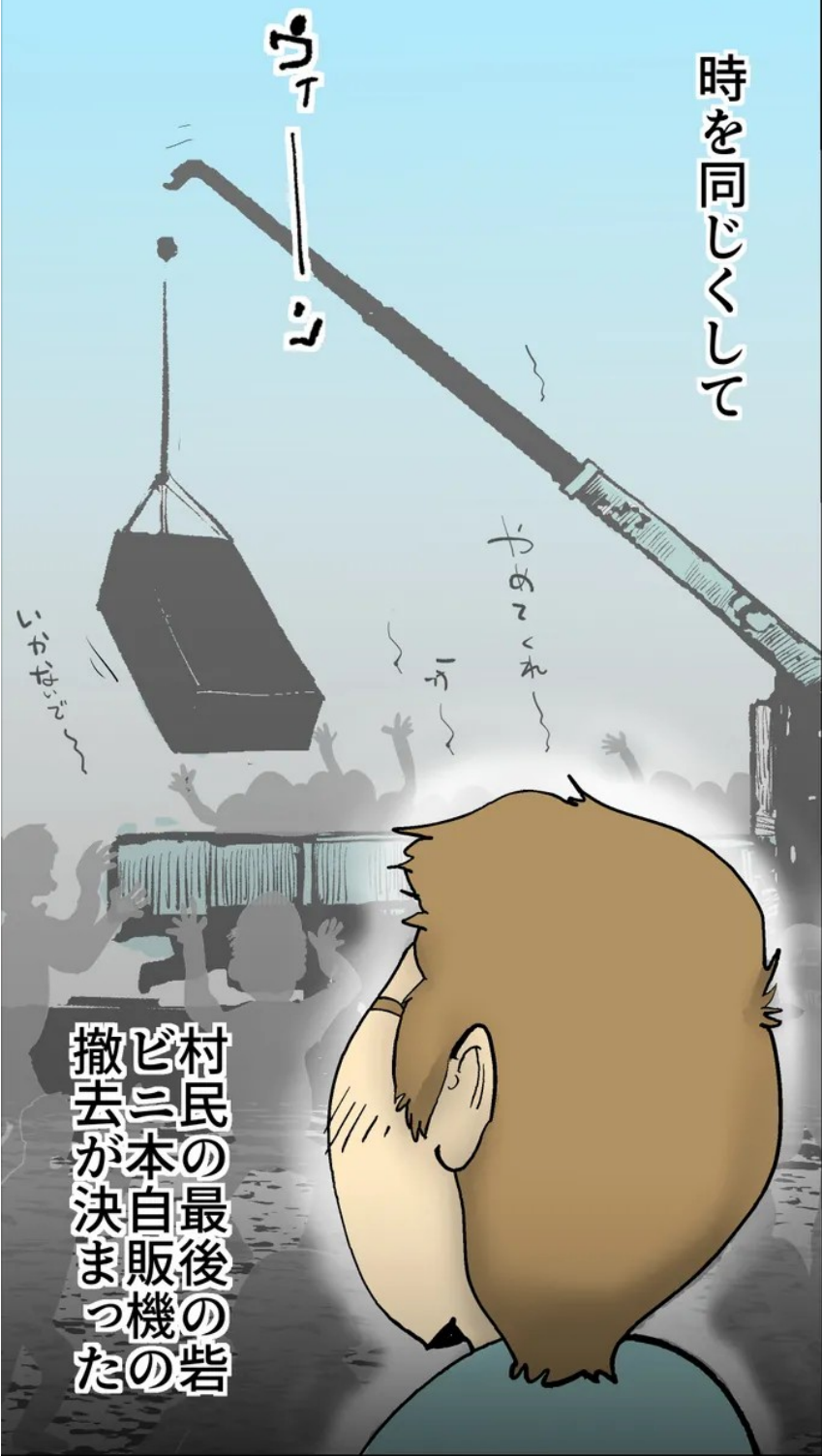


そうこう  
しているうちに

母さんは妊娠し



時を同じくして



村民の最後の砦  
三本自販機の  
撤去が決まった

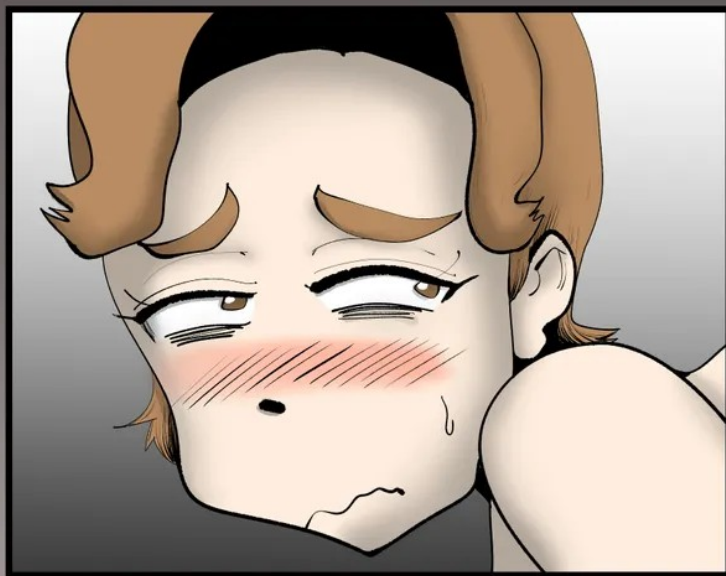
あーざーっす。





母さん  
母さん、母さん！

今日はえらく求めてくるわね  
そんなにがつつかなきで  
お腹もこんなに大きいし  
そんなに動けないわよ



だから：ダメ：だって  
：言ってるの：強く：に  
：そんな：♡強く♡  
：突いちゃ：いや♡

母さんお腹が  
大きくなつて  
あまり無理な体位は  
できなくなつたけど

でも母さんに俺の精液を  
流し込むのはどうしても  
止められない









はあはあ  
はあはあ♡♡



母さんそろそろ  
僕の弟生まれるんでしょ？

馬鹿やめなさい！

父さんに聞いたけど  
もう予定日過ぎてるんだって？

それはそうだけど…

エッチしようよ♡

あ♡

何言ってるんのあんた  
もう入ってるじゃない！

え、じゃあいいんだ!?

あ♡

パッ  
デュン

パッ  
デュン

あ♡

馬鹿やめなさいよ

こうやって刺激したら  
出産しやすいんじゃない…

あ♡

あ♡





はーっ♡

はーっ♡

はーっ♡

はーっ♡

ズッ  
フ

ズッ  
フ

ズブツズブツ  
はうっ♡:もっとな  
優しくして

でもこの前もそう言っ  
て生まれてこなかった  
じゃない  
もうちょっと激しめに  
:もうバカ!  
わかったわよわかったから  
もうちょつと  
優しくしてよ

はーっ♡



もう仕方ないなあ  
母さんは♡

ほら自分で足持って

もう妊婦に  
何させるのよ!

まいいから  
動いよ

…うん♡







ズブツブズブツ

ドク...

はう〜♡

あああ〜♡  
だめえ〜♡

ドク

ドク...

ドク...



ドクンドクン

お腹なんか動いてない  
やばいんじゃない？

はあはあ♡

今日もめっちゃ  
気持ちよかったよ

はあはあ♡

母さん？

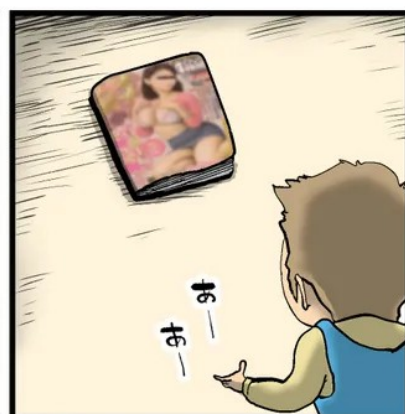
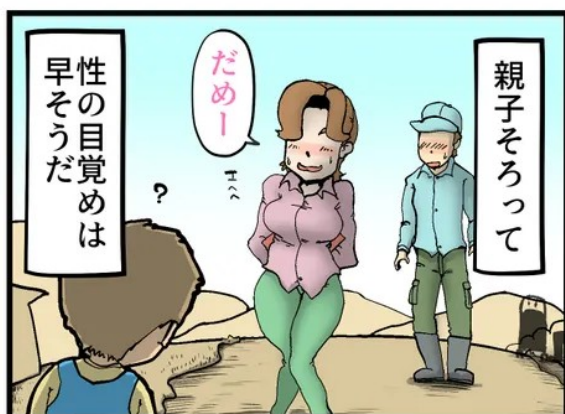
はあはあ♡  
どう、いたしまして

母さんを着替えさせ  
ほどなくして  
陣痛がきた

僕たちは父さんの  
運転する車で  
病院まで向かった







終